農女の友

第二巻 九月號

大正八年八月廿八日印刷納本
大正八年九月一日發行（毎月一回一日發行）
大正[illegible]年十二月二十三日第三種郵便物認可

農女會中央部發行

2巻7号

新製丸帯陳列會
九月一日より

白木屋呉服店

懸賞裾模様陳列會
九月一日より

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

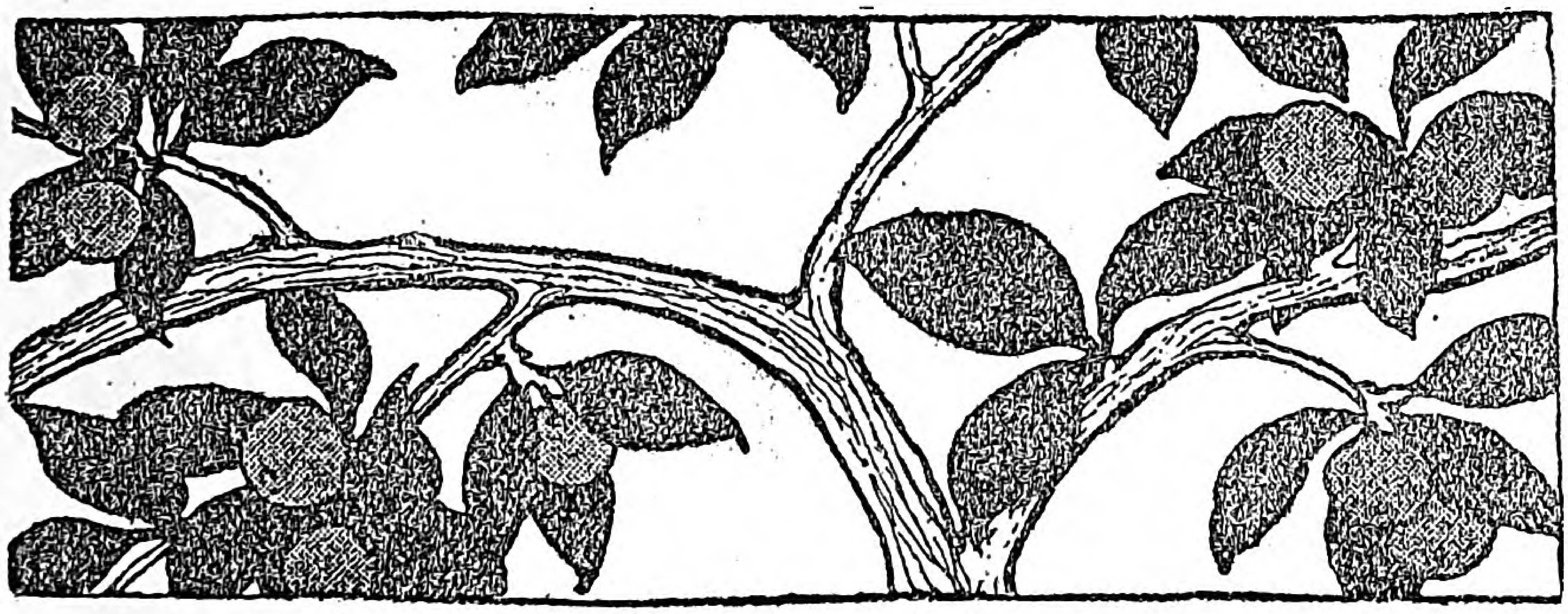
山脇高等女學校長
山脇房子女史述
婦人の日常生活
＝出版早々忽再版＝
四六判二百五十餘頁
最新式裝幀箱入義本
定價金壹圓參拾錢
郵送料金六錢

女史快心の名著

山脇房子女史の、女子教育界に於ける權威者たる事は、世の既に周知する所なり。今女史は、其卓拔なる見識と幾十年の經驗とを傾倒して、以て婦人日常生活を說く。所說丁寧親切文辭通俗平易、現代の婦人が直に以て自己生活の規範とし、平生に處し日常に施して、亦遺憾なからしめんとす。蓋し女史近來快心の名著たるを疑はず。一本を諸姉の座右に薦む。

家庭生活の改造は此の規範に依られたし本書は現代婦人生活の指針なれば也

東京神田區南神保町三
株式會社 日新閣
電話本局二九九一番
振替東京一一三九一番



處女の友 九月號目次

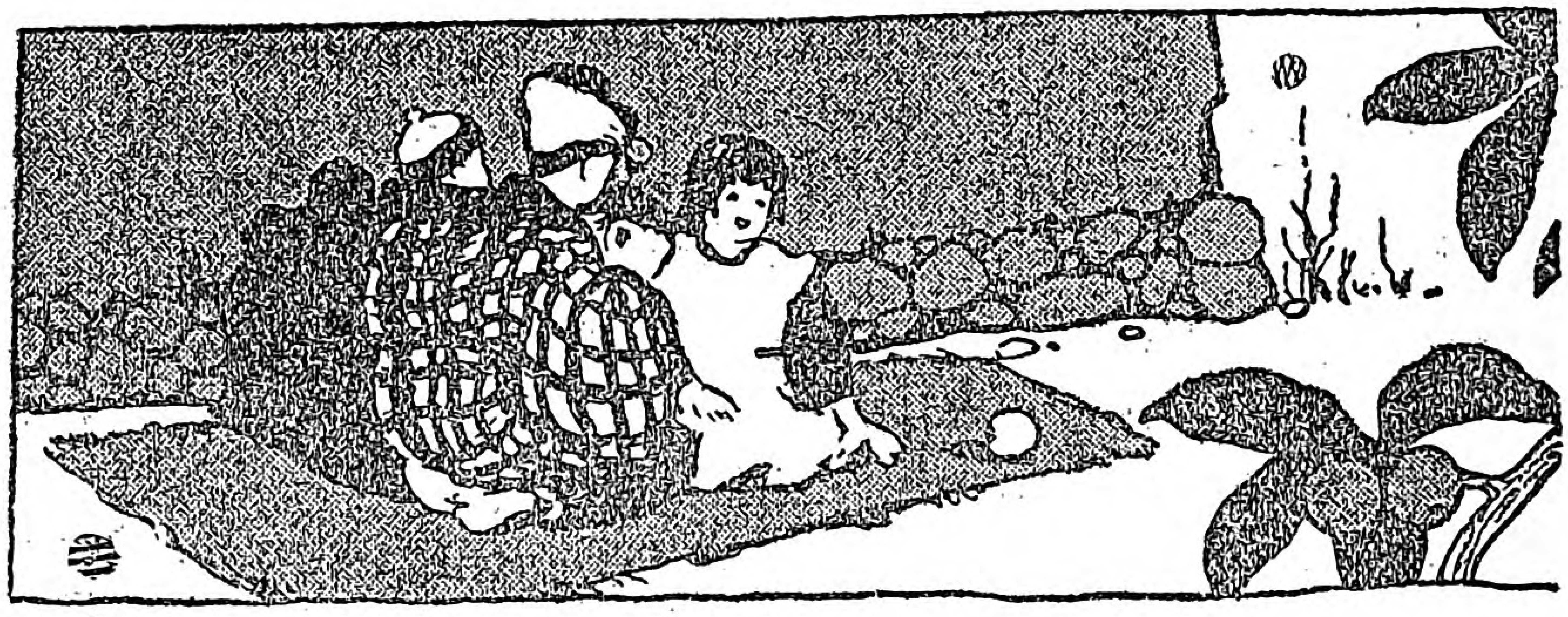
大正八年九月一日發行

□口繪
町の子供と田舎の子供
地方婦人會の發展

□記事

□秋……一
□處女會と工場の連絡……二
□まことの友　中央部理事　山脇房子……六
□貰い膏汗　中央部理事　嘉悦孝子……九
□分娩前後の衛生　中央部理事　吉岡彌生……一二
□女子と補習教育　文部事務官　上原種美……一五
□戊申詔書いろは歌　武藏野學院長　菊地俊諦……一六
□出賣り……一九
□紙蒲團の話　陸軍主計總監　辻村楠造……二〇
□貧民窟を見るの記　内務省囑託　天野藤男……二三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



□田舍の娘さんへ……救世軍婦人部 伊藤富士雄……二五
□少女の力……內務省囑託 岡田次郎作……二六
□栲幡姫……畠山 敬子……三〇
□秋の七草……三三
□富士登山記八合目……白 雲……三五
□都の先生へ……沖元 艶子……三六
□新秋の野菜料理……三九
□口繪說明……三九
□處女會中央部協議會……四〇
□全國處女會一覽表（其の二）……四三
□地方通信……四四
□處女新聞……四五
□處女文藝……四六
□考へ物解答と新題……四七
□編輯だより……四八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部設立趣旨

輓近地方青年及青年團敎養の機運漸く熟し、之が指導啓發の機關設備頓に整備せんとするは、地方開發國運伸暢の上に慶賀に堪へざる所なりと雖も、翻つて彼人等青年の姉妹ともいふべき地方婦人を省みるに、その修養の機關甚だ乏しく、識者亦深く此の問題に關心する所なきが如くなるは、我等の甚だ遺憾とする所なり。抑々地方青年と地方處女とは、車の兩輪の如く、鳥の双翼の如く、地方經營の上に其の孰れをも偏重すべからず。如何に青年團體の活動に由て、地方青年の智識進步し德性向上すとも、地方處女の修養自覺之に伴はざれば、地方の風紀完きを得ざるべく、延いて家庭改善の實を擧ぐることも至難なるべし。青年をして次の時代の善良なる公民たらしむることの必要なると同時に、處女をして其が好適なる配偶者たらしむることの必要も、亦言を俟たざる所なり。

殊に世運の日進するに伴ひ、或は農家の經濟に、或は副業の普及に、或は育兒に、割烹に、裁縫手藝に、禮法看護に、地方婦人の進步向上に俟つべきもの頗る多く、彼等の責務使命月に日に重大を加へんとす。況んや歐洲の戰爭は、婦人の地位職能に一大革新を促し國家の運命も半ば婦人の實力の有無に由て決せられんとする實證を目前に示せるに於てをや。此の際、國家の根底をなせる地方町村の婦人を覺醒發奮せしめ、男子と相列んで個人的に國家的に修養努力せしむること、極めて〳〵切要なり。

近時、町村處女會の設立せらるゝもの漸く多きは、蓋し時勢の然らしむる所なるべく、歎喜に堪へざる次第なるが、然も之を、男子青年團體の發達普及に比すれば未だ日を同じうして語るべからず。此に於てか、我等は尚一層地方處女會の設置を促進し、地方處女の修養に資し、自覺を促さんが爲め、東京に處女會中央部を設立し、以て全國各地方處女會の相互連絡を圖り、其擁護啓導に努め、或は地方處女會に對する巡廻講演を開始し、或は處女會指導者の講習會を催し、或は地方婦人問題に關する世人の注意を喚起し、或は出京する地方處女の爲に職業紹介其他の方法によりて便宜を與へ、更に進んでは移民植民の計策を講じ、地方振興の根本に策應し、之を小にしては地方婦人の爲めに幸福なる前途を開拓し、之を大にしては國家根本の活力充實に貢獻せんとす。

方今、都市の發達繁榮するに伴ひ、地方農村の荒廢著しく、妙齡の處女にして父祖傳來の農業を嫌忌し、都門の幻影に憧れて、目的もなく出京するもの頗る多く、延いて地方青年男子の愛鄕心をも沮喪せんとする傾向あるは、少しく農村の實情を知るもの丶熟知し且憂ふる所なり。如何に男子青年團體が剛健素樸の氣風を養成するに自ら努むとも、彼人等青年の對象たる地方處女にして、虛榮の風に憧れ驕奢の態を喜ぶが如くんば、地方改良の目的を達すること至難なるべし。

斯る見地よりするも、處女會の設置は刻下の急務たること瞭乎たり。而して、之が設置を普及せしめ、之をして堅實なる針路に向はしむる爲めの處女會中央部設立は、一層刻下の急務なりと言はざるべからず。江湖諸賢、希くは、國家の根本的發達を期する趣旨に於て、我が處女會中央部の設立に贊成せられんことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

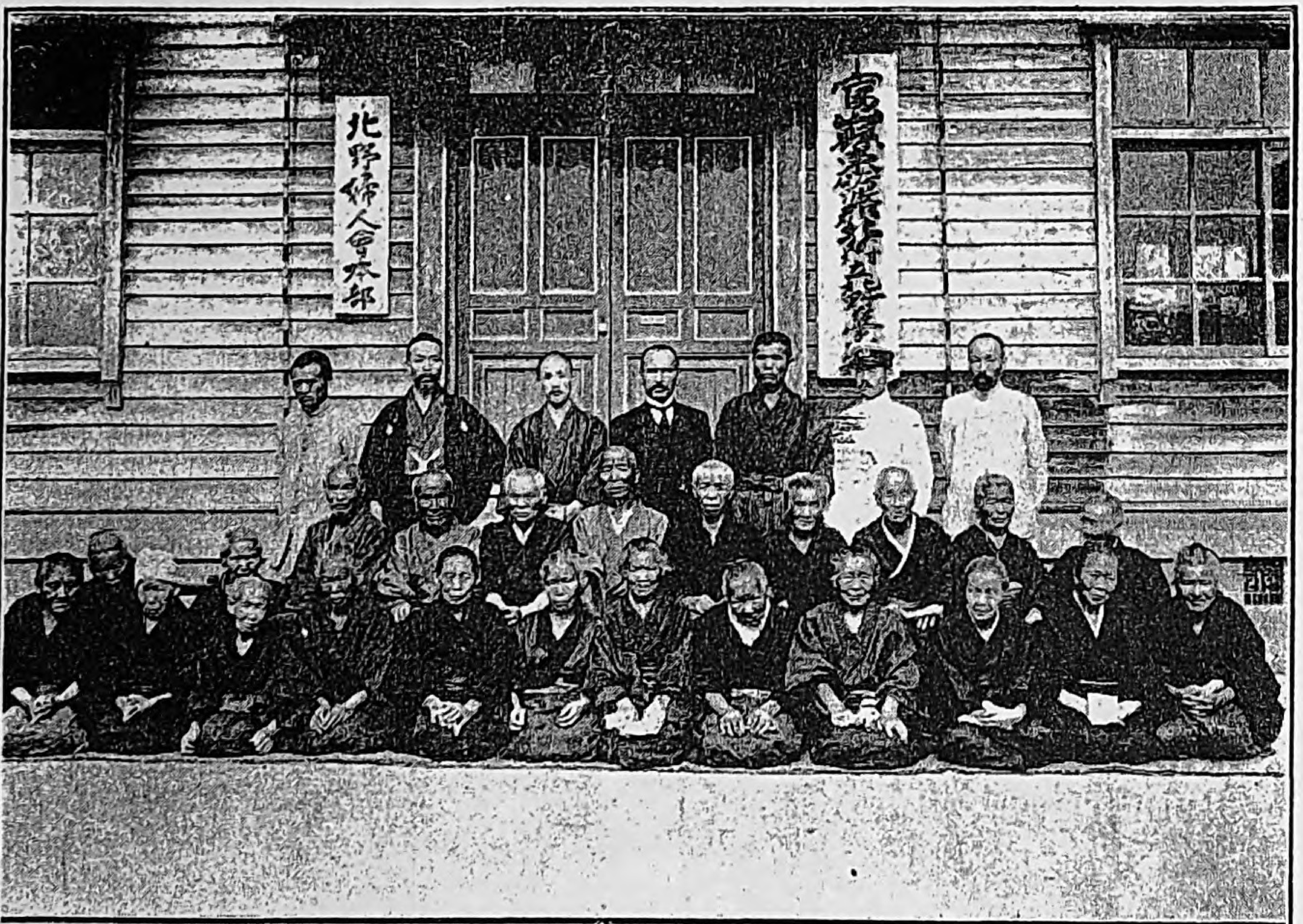
田舎の子供と町の子供

田舎は天然の公園であります

町の子供は公園であそびます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

敬老會と講習會

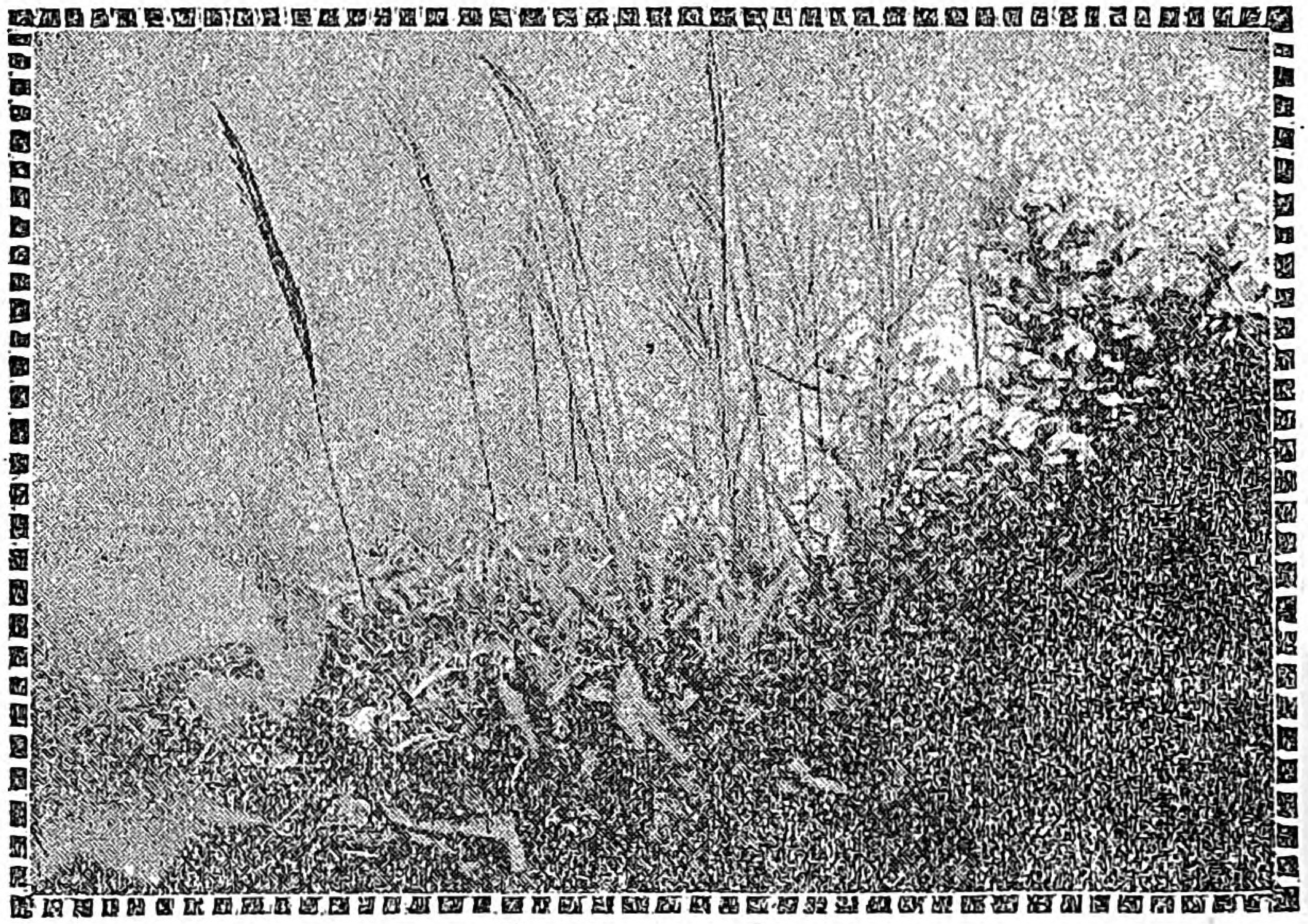


富山縣礪波郡北村婦人會の敬老會

靜岡縣庵原郡庵原村處女會の絞り染講習會

（記事三九頁参照）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



秋

秋が來た、暑さも日増しに衰へて木の葉は色づき、柿が赤くなる。百舌がないて栗も笑む。夕方鎮守の森影に日ぐらしがないて、叢には鈴虫松虫の鳴く音が冴える。

都の人は、都の娘さんは、秋を淋しいといひ、悲しいといふ。田園の處女は秋を迎へて喜ぶ。其はお米がみのるばかりでいふのではない。來るべき豐年祭のたのしさを想像してばかりでもない、私はかう答へよう。

秋は働き甲斐のある時である。身も心も引きしまつてヂッとしてはゐられぬ時である。何物かの力が人の心を引きしめ、さうしてたのしく、元氣に働かさせる。しかも落ちついて靜かに考へることも出來る。それで私はたのしいのである、と。つまりよく働く人にのみ秋はたのしいのである。あゝ落ちついてほゝゑんでしづかに元氣よく働く秋！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會と工場の連絡

一、工女六十二萬人

大正六年十二月末日の農商務省の調査に據ると、我國各種の工場數（職工十五人以上の）は一萬九千四十七、其の職工は百十二萬三百二十八人といふ數を示してゐる。此中六十二萬四千八百八十六人は女子職工即ち女工である。

次にこの女工を年齢に依つて別てば、十歳以上十二歳（九、〇三〇人）十五歳未滿（一〇五、五七六人）十五歳以上（五一〇、二八〇人）といふ統計を示してゐる。

次に工場の種類より分てば、其の最も多きは製絲工場にして、製絲工女數は二十一萬四千百三十九人（大正三年）を有する。此中最も多きは長野縣の六萬四千人である。之に次ぐものは愛知、群馬、山梨、埼玉、岐阜の諸縣である。

二、十五歳が一番多い

而して此等の工女は固より生れながらの工女ではない。然らばその出身地はいかに。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

信州岡谷片倉組に於ける工女總數一千三百人につきて調べた所に據ると（稻田農學士「婦人農業問題」）

出身家庭	實數	比例
農家より來るもの	一、〇四〇人	八〇
商家より來るもの	一九五	一五
其他	六五	五

尚ほ全部の製絲工場に就てみるも、農家出身の工女は常に七〇％内外を占めてゐる。

次に其の年齡であるが、大正二年某會社に於ける調査に據れば、明治四十三年來其の最も多きは十五歳にして、次は十六歳、十七歳、十八歳、十四歳といふ順序になつてゐる。十九歳以上は漸次減じてゐる。

之に據つてみれば、全國の工女の多くは農村の農家より出でたる十四歳より十八九歳の婦人であることがわかる。而して是等の婦人は結婚關係より言へば、多く未婚者であることは事實であるし、推定も出來る。若い農村の處女が現在四十萬人も工場に働いてゐる上に、毎年二十萬人宛も工場に吸ひ取られるのである。かう考へれば處女會と工女との關係は忽には出來ない。

三、中央部の處女會連絡

茲に處女會と工女との關係を述べたいのであるが、其より如何にしてその連絡を圖るかに就て具體的方法を記述する方が捷徑であると信ずる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一、處女會に於て郷土出身名簿を調製し、其の多數の工女を出だせる土地に於ては、工女のみの臺帳を編成すること。

二、處女會は其の工女の勤務を間斷なく調査し、通信、訪問其他の方法に依りて相互の連絡を圖るに努むること。

三、指導者は處女會の工場視察を勸め、集會に於ては勞働問題、社會政策、工場法等の概念要項を講話すること。

四、工女たらんとする會員に對しては、殊に其の將來を戒め、その愛郷心を發揮せしめ、都市の惡風、工場の惡習に感染せしめざるよう深甚の用意を促すこと。

五、盆正月等工女の歸休期に際しては、在郷處女會との連絡會を開き、相互に啓發すること。

六、工女の出郷に際しては送別會を開き鎭守に奉告して、其の將來を宣誓すること。

四、工場關係者に望む

次に工場主、會社重役等に對しては

一、工女の出身地の調査を促し、其の府縣別を作成し、家庭の實情をも明細に調査して、父兄若くは處女會長との連絡を一層密ならしむること。

二、なるべく盆、正月等に際しては歸省を勸め、又工場内に於て力めて田園趣味を鼓吹し、愛郷の觀念を涵養すること。

三、地方父兄若くは處女會員の工場視察を奬勵し、工場の設備を公開すること。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

四　工場主、重役等自ら地方に出張して農業生活を視察し、處女會に對して工場生活を紹介すること。

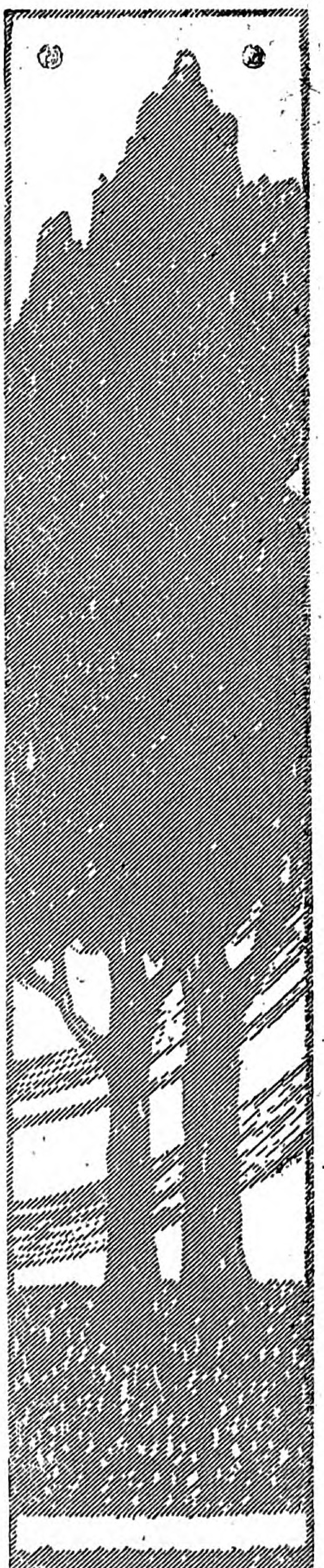
等の事項の實行を奬めたいのである。工場其の物を既に不完全のものとし、危險視するからこそ、之を敵視するに至るのである。工場の内容完備し、衛生にも風紀にも一點の缺陷を發見せざるの理想に到達せしめることが根本である。農事の機械發達し、農村の勞力過剩となるべき將來に於ては、工女を禁止することは、不可能であるのみならず、我邦工業の發展を阻害するものである。此に於てか、(一)工場の改善と(二)工女の自覺と(三)工女たらんとするものゝ覺醒とが必要で、是が根本解決法と信ずる。娘をもてる父母の反省の必要はいふまでもない事である。

五、工女部の設立

中央部に於ては、將來工女方面に就ても出來る丈調査もすれば、實行動もとりたく考へてゐる。地方處女と都市工場との中間に介在して、相互の連絡機關となつたならば、相方の利便ではなからうかと考へる。其の爲に、地方處女會に對しては工場方面の研究を奬め、其の材料の提供をも致したい。又都會の工場をも視察し、工女の動靜を調査し、尚既往の工女の將來の運命をも調べてみたいと思つてゐる。尚更に出來得るならば、處女會中央に工女部を設け、處女會と連絡して工女の需要供給をも爲したいと思つてゐる。是には中央部に於て會館を設け、寄宿舍を建設する必要が伴ふのである。然し以上は理想であり多年の宿望であるに止る、都會及地方の篤志家有志者の援助と同情とを切に祈つて歇まぬものである。又地方處女會はよく自分達の同胞の身の上に想到し、中央部の此の種の計畫を諒解して、相共に女子の進路を開拓したいと思ふ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



まことの友

中央部理事　山脇房子

教育勅語に『朋友相信ジ』とありますが、相信じとは、お互によく理解し合うて、此の人の言ふこと、此の人の行ふことならば、決して間違つたことはないと堅く信用して、疑ひや邪推やうを挾まないといふことでありますが、さうするには、お互に氣をつけて、先づ自分が不信なことを致さないやう、裏表のあるやうな行ひをしないやうにし、そして、若しも友に不善の行ひのありました時は、眞に其の人の爲めを思ふて、眞心から諫め合はなくてはなりませぬ。それでこそ眞の友で、自分にさういふ友が一人あれば、一生涯の間にどれだけ益を得るか知れませぬ。

明治天皇御製

過ちをいさめかはして親しむが
　まことの友のこゝろなるらむ

この御製の通りであります。次に一つ、このお歌の通り實行して、友の良くない行ひを悔い改めさせた少女の例をお話いたします。

實名はお預りして、假に佳子玉子と呼んでおきませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

う。この兩人は山陰道の農家の娘で、佳子は中等の資産ある家に生れ、玉子は至つて貧しい家に生れたのであります。佳子は日々學校にも行き、衣服飲食にも不自由なく、暇さへあれば遊戯に耽つて居るに引きかへ、玉子は其の家貧しく、朝な夕なに藁仕事することを業として、生計の助けにして居る位であります。さういふ風ですから、固より讀書する時間もなく、爲めになる話を聽く機會と申せば、村の處女會の講演會の時くらゐなものですけれども、其の性質が如何にも優しく善良である爲め、良いお話を聽けば直にそれを實行するやうに心がけ、近在近郷でも至つて評判の良い娘でありました。

　そして、佳子と玉子との家はお隣同士であるばかりでなく、年齢が殆ど同じ位で、まだ傳ひ歩きする頃から親しく交際して居りましたが、兩人が十三四歳にもなつた頃は、兩方の家の貧富の度がいよ〳〵甚くなり、其の上玉子は兎角遠慮がちな上に、佳子は性質がだん〳〵荒々しくなり、我儘で人を忌み嫌ふ風があるものですから、自然玉子はあまり近寄らないやうにして居りました。

　或る夏、丁度土地の盆祭りの夜、佳子は珍しく玉子の許へ來て、一緒に踊見に行かうと勸めました。玉子は、遲くなつては明日の仕事の妨げにもなり、又あまり氣も進みませんので、辭退しますのを是非にと強ひて勸めますので、それではと母親の許しを得て、一緒に踊の庭に參りました。

　少し踊を見て居るうち、佳子は玉子に向ひ、一寸其處までお附合なさいと、進まぬ玉子を誘つて、或る奥まりたる家に行きましたが、驚くべし、此處は男女入り雑つて賭遊びする場所でありました。玉子は胸をどらせ、あわてゝ逃げ歸らうとしましたが、二人三人して無理に引き留め、とう〳〵二時間餘は出る事も出來ませんでした。やう〳〵の事で佳子を促して家路に就きましたが、その途中、佳子は玉子に向ひ、今夜の事は誰にも言はないで居て下さいよと申して、少なからぬお金を玉子に與へやうと致しました。玉子はそれに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

手も觸れず、涙をハラ〳〵と流しながら、佳子に申しました。『あなたと私とは幼い時からの友達で、近頃こそ大分疎くはなつて居りますけれど、お互に心はよく知り合つて居る仲であります。それにあなたは、今でも學校に通はれ、物の道理は私などよりよく知つて居られる筈ですのに、今夜の行ひは何といふ事です。人に知られてならぬやうな事をなし、夜更まで遊び、殊に厭がる友を無理に誘ひ出し、その口留料としてお金を與へやうとなさるなど、これが少女の道に適つた所業でせうか、殊にあなたは、村でも名ある家の娘ではありませんか。私は貧しい家に育つては居りますけれど、此のやうな不正のお金には手を觸れるのも穢はしい。あなたは何といふ淺間しい情けないお心がけなのです。どうぞ今夜かぎりであのやうな事はお止めなさい。いま思ひ止つて、此の後全くあのやうな場所へ足を踏み入れないやうになされば、廣く世間へも知られないで濟みませうが、若しどうしても行ひを改めることがお出來にならなければ、私は御兩親のお耳にも入れて、是非ともあなたのお心の直るやうにせねばなりません。それはあなたのお爲めを思ふからで、そしてさうするのが幼い時からのお友達としての私の道であると思ひます。』

斯う申す時の玉子の顏には、友を思ふ眞心が溢れ、涙は止度もなく落ちるのでありました。凡そ、眞心から出る熱心ほど強いものは世の中にありません。無情の鳥や獸でも、眞心からの愛には感動するものであります。況して佳子は、多少敎育を受けた身ですから、玉子の眞情に感じまして、涙を流して禮をいひ、自分の心得違ひであつた事をわび、此の後は必ず改心すべき事を誓ひました。それから後は、前にもまして睦じい仲となり、唯今では二人共、夫もあり子もあり、身分こそは異ひますが、互に力になり合つて、親しく暮して居るさうであります。御製に仰せられてある『まことの友』と申しますのは、この玉子の如き人を申すのであらうと存じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

尊い膏汗

中央部理事　嘉悦孝子

常に私が田舍に行つて思ひますのは、「お隣りの苦菜」といふ諺の通り行く度毎に田舍は何といふ高尚な高潔な所だらうと感ずるのであります。田舍のものを見ますと、その自然の景色から、人々の生活から、何となく神々しいといふ樣な感さへうけます。殊に、田舍の人達が、一人殘らず、一生懸命になつて働いてゐられるのを見ると、本當に尊敬せずにはゐられません

この間も、朝日新聞から「お米の値段は一升何程が適當だらうか」といふ問を出されました時、私は「四十錢以下では買へません。」と申しました。私共のやうに、お金を出してお米を買ふ者にとつては、お米でもその外のものでも、安い程よいのですが常に田舍の人々の苦しい勞働を見てゐます私には、到底四十錢以下では買ふ心持がしません。あの、朝から晩まで、春から冬までの苦しみによつて得られたものだと思へば、四十錢或はそれ以上を喜んで出しますと答へました。これも、私が農家に對して、尊敬をもつてゐるからであります。

田舍の仕事は神の仕事

田舍の人々は、田を耕し畑をうち、米を作り菜を作る樣な自分のしてゐる仕事を、卑しい仕事だと思つてゐられる樣ですけれど、私の目から見れば神の仕事の樣に見えます。

都會の人々は、大抵はお金のために働いてゐるのです。それで、どんなに美しい仕事の樣に見えても、その

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

何處かに汚いところがあります。

けれども、之と反對に、田舎の人々は、自分の利益とか、お金とかいふ事を少しも考へず、全くの無念無想で、汚い着物を着はげしい勞働をしてゐられます。そしてそのお蔭で以て、都會の人々は生活してゆくことが出來るのです。かう考へればそれは、實に尊く美しい仕事です。ですから、あなた方は、よく自分を自分で尊重して頂きたいと思ひます。物が解らぬからとか、學問が出來ないからとか、いつも汚い着物を着てゐるからとか、都會の人の樣にお金がないからとか、そんな事を言つて卑下する必要はちつともありません自分達は尊い仕事をしてゐる、自分達の働きは、この日本の何千萬の人を養ふのだと考へて自尊自重して頂きたいと思ひます。昔の川柳にも、

あかぎれの手からきれいな拂ひする。

といふのがあります通り、田舎の人の持つてゐるお金は、たとへ僅かではあつても、實に尊いものなのであります。

田舎の生活は無駄がない

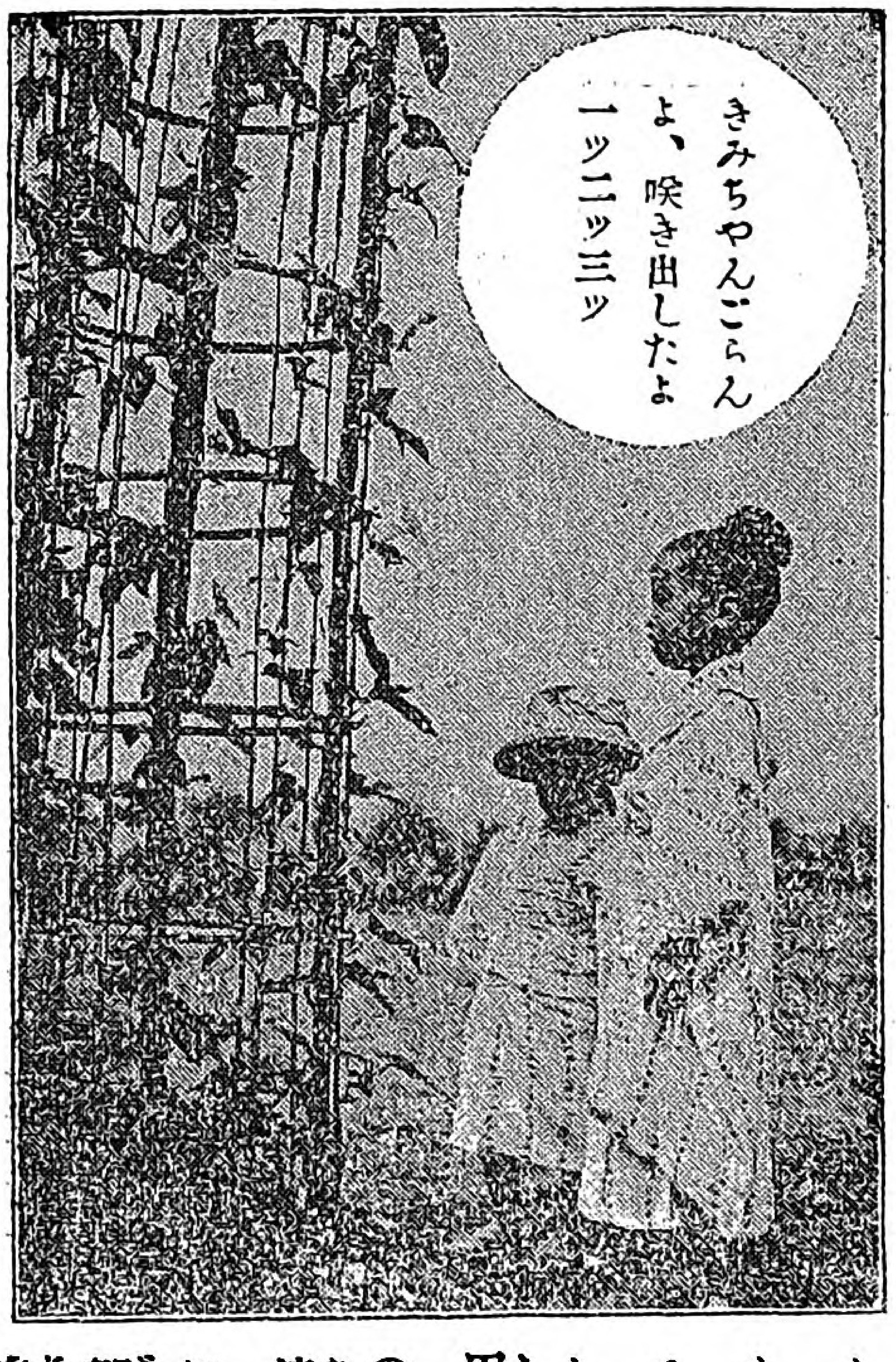
それから、私のも一つ感じてゐますのは、田舎には少しも無駄のないことです。都會の人々の暮しには、時間でも、食物でも、お金でも、本當に勿體ないほどの無駄があります。私はこの無駄のない生活といふことを大變に尊んで、いつまでも無駄使ひの出來ない、金持にならないことを、却て喜んでゐる位です。金持になれば、どうしても不知不識の中に無駄なことをする事が多からうと思ふからです。

今、日本ではお米が足りないといつて、騒いでゐますけれども、元はといへば、あまりお米がありすぎたために、粗末にし無駄にしたためではないかと私は考へます。試めしに、都會の家の臺所をのぞいてごらんなさい、きつと流し元には御飯の粒が二つ三つ、ひどい所だと何十粒といふ程捨ててあるにちがひありません。お米ばかりでなく、すべてがその通りで、或人が委しく調べた所によりますと、東京中で一年間に、お

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

醬油を捨ててしまふのが、二萬何千樽とかになるといひます、ずいぶんひどいものではありませんか。かういふ事からして、お米でも何でも足りなくなるのですですから、すべての物を、無駄にしない樣、粗末にしない樣な習慣をつけなければなりません。それについても、田舍の、無駄のない生活を私は尊く有り難く思ひます。私なども、何れ何年かの後には、田舍へ入つて、本當に田舍の人達のなさるやうな仕事をしたいと思つてゐます。

都會の人は、お金が澤山あるから幸福だなど丶考へてゐられる人もあるか知りませんが、それは全く間違ひで、都會に來たとてお金が澤山儲けられるわけのものではありません。そして、若し澤山のお金が入つたとしても、澤山入れは必ず澤山出ます。そしてつまらぬ事に、無駄使ひをしてしまひます。ですから、お金のある人達が幸だなどと思ふのは、本當に間違つた考だと思つて下さい。



近頃は代用食とか何とか言つて、研究したりしてゐますけれども、何と言つても、日本人の食物の元となるのは、お米の外ありません、お米があつてこその代用食です。あなた方は、その大切なお米を作られる人達です、そして、自分の心に得られる尊い樂しみは、都會の人のやうに、お金や自働車や着物や芝居で、無理に求めた樂しみとはちがつて、自然に心から得られる快い樂しみですから充分に味つて頂きたいと思ひます。そして、生涯をその平和な潔らかな田舍で長生してほしいと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

分娩前後の衛生

中央部理事　吉岡彌生

分娩前の注意

分娩は病氣ではありませんから、その處置が當を得さへすれば危くはないのでありますが、之に反して不適當の處置をする時には、分娩は女の大厄ともいふ程ですから、生命を失ふといふ樣な事にならぬとも限りません。それで、適當の方法を講じられるだけ講じてその上は安心してゐるのがよろしい。と言つて、何の處置も施さずして、あまり樂天的になりすぎるのもよいとは言へません。

第一に注意すべき事は、清潔と消毒といふことであります。分娩の時に最も恐れなければならぬのは、母體に病毒の入ること、その次には産兒に病毒の入ることであります。昔は、分娩の時には産襤褸といつて不潔な布を使つたり、産室もきれいな心持のいゝ部屋がありながら、わざ〱汚い暗い室をえらんだりしましたが、あれなぞは最も不衞生的な事であります。

分娩前に、注意しなければならぬのは、産婆はなるべく新智識をもつた人を頼むこと、分娩に要する器具をとりそろへることであります。器具は産兒に浴みさせるための金盥大中小三個、産兒の目と口を瀨ぐためのコップ二個、湯上げのタオル大と小、産兒の便をとるためのさくら紙（極やはらかい紙）十帖、母體をまくための晒木綿一反（これは、よく煮て糊や不潔物をのぞき乾かしたもの）、その他には肌襦袢下帯浴衣の類を三四枚づゝ、よく洗つた清潔なものを用意しておくこと蒲團敷布の類も相成るべくは新しいもの、それがなければよく洗濯したものを使ひたいものです。尚、フオ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ルマリンか何か、消毒薬も備へておかねばなりません

産婦の手當

さて、いよいよ分娩の期が近くなりましたら、その二三日前に髪を洗つて清潔にし、入れ毛や心を入れずに輕くしておきます。産室に充てる室は、靜かな、人の出入のあまりない所がよく、二階のある家ならば二階にした方がいい樣です。二階で産をすると罰があたるなどいふのは、全く迷信です。

出産の前には必ず陣痛が起るものですが、それが一時間に一度、一時間に二度、三度といふ頃になつたら室の中をフオルマリン水でよく消毒して、産床を敷いて待ち、陣痛が十分おき五分おきと、間がなくつゞいて來る樣になつたら、腹帶などを皆とつて、清潔な寢衣にきかへて、床の上に仰臥します。陣痛は、大抵初産の人は八時間乃至十時間の間つゞいて、だん／＼と後ほど激しくなつて來ます。それから、産兒の頭が出かけてから、全體出てしまふまでが、凡そ二時間で、これを第二期といひます。その後で普通に後産と呼ぶ胎盤が下りるのに三十分位かゝります。この間中は、非常に苦しいので、吐く人もあり、全く食慾のなくなる人もありますが、夥しい出血のない限りは、安心してゐればよいのであります。時に産兒が出かかつても、長い間出ないと、出かかつたままで死ぬ事がありますから、こんな時には産婆ばかりでなく、至急に醫者を頼んで出して貰はねばなりません。出す時は、器械で出しますけれども、經驗のない人では器械など使ふのを恐れます、が母子共に傷けない樣な安全な器械なのですから、安心してよいのです。

分娩の後は、産婆が適當に後片附をし、局部を消毒してくれたら、第一によく眠ることです。少くとも十二三時間の間非常に苦しんだのですから、出來るだけ長く眠らねばなりません。この時には、家族の人も親戚の人も、産婦の傍へ言つて物を言つたり何かしない樣に、氣を使はせない樣にせねばなりません。出來ることならば一人看護婦を附添はせておきたいものです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

何しろ出産は大變なことですから看護婦を雇ふ位の費用は前以て他の事から儉約して出しておき、出産の時には、安心の出來るやうにしたいものです。出産後の手當を誤ると、産褥熱などを引起して、そのまゝ死ぬ事がありますから、よほど注意しなければなりません

産婦の食物は最初の日はお粥か牛乳に鰹節のかいたもの、次の日はお粥に玉子、三日目には鶏のお汁に刺身、その次に煮魚といふ風に漸次に硬いものや濃厚なものと進めてゆき、一週間の間お粥を用ひて、體が順調であつたら、八日目から御飯にしてよろしいのです。この間は、毎日體を拭いてもらひ、髪も梳してもらひ、着物を清潔にしなければなりません。八日目頃から便所へゆく位は動いてもかまひませんが、三週間は床の上にゐなければなりません。

産兒の手當

一方産兒の方は、生れると直ちにお湯をつかはせ口と目とは硼酸水の薄いのでよく洗つてやります。髪を剃つたりしますが、あれは大變いけません。

生れた後一晝夜は乳を與へなくてもよろしい。一晝夜たつたら、水で牛乳を四倍にして盃に一杯程のませる事、牛乳がなければ砂糖湯でもよろしい。二日目からは母親の乳が出はじめますから、これを二時間おきに與へ、その翌日からは二時間半おきに與へ、一週間たつて後は三時間おきに與へます。最初に出る母親の乳は、胎内にゐた間の胎便を下すために自然に下劑を含んでゐるので、なるべく早くこれを與へるのがよろしい。昔の産婆は甘草などのませますが、あんなものは却てやはらかい胃腸を刺戟するのでいけません。それから襁褓は度々取り替へてやり、湯は必ず毎日つかはせてやらねばなりません。産兒の衣服は、大人よりは少し暖か加減にし、晒木綿の樣なものがよろしい。

産兒の臍の緒のかたまらない中は、不清潔な事をしてそこから黴菌が入つて破傷風になつたりしますから臍の緒のとれぬ中は、滅多に抱いたりせず、しづかにねかせておかねばなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女子と補習教育

文部事務官　上原種美

一

世の進歩に従つて、男子のなすべき仕事の範圍がだん／＼と廣くなると同様に、女子の力をつくすべき事柄もおひ／＼と多くなつて來る。それで、これからの女子が、充分に女子としての務を果すのには、單に今日の義務教育を終へたばかりでは充分とは言へない。たとへば、讀書の力も不充分である。手紙を書くにしても自分の意志を思ふ様に書き表すことが出來ない。計算も少し面倒な物は出來ないといふ有様である。故に義務教育を延長して、この缺陷を補ふ様にする事は、極めて緊切な問題であるが、我國の今日の事情では俄かに年限を延長する事が六ケしいので、何等か他の方法で、小學教育の補充を計るといふ事が甚だ肝要である。殊に男子は學校を卒つてから雜誌を讀むとか、新聞を見るとか、文字に接する機會が比較的に多いけれども、小學教育を卒へて、尚上の學校に進まない様な境遇にある女子といふものは、兎角文字に遠ざかりがちであるから、折角小學校で修めた智識、技能を、だん／＼と忘れてしまふのが普通であつて、中にはこれでも小學校を卒業したのかと驚くものも少くない。

それ故に小學校で修め得た智識や技能を維持してゆくといふ點からだけ見ても、何かの方法を講じなければならぬのである。

二

又、少女の心身は小學校卒業後急に發達するものであつて、所謂處女時代は一番注意を要する時であるの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

戊申詔書 いろは歌

いろ〳〵の、くすしき事も、知られつゝ
　ひらけゆく世の、たのもしきかな
ろんよりも、あかしと言へは、言葉より、
　身に行ひて國につくせよ。
はらからの、親しみふかく、さつ國と、
　よきをきそひて、進みゆかなむ。
につ進の、勢しるし、我もまた、
　おくれはとらじ、やまとだましひ。
ほころびを、つづるをみなの、心もて、
　國のまじはり、すきまあらすな。
へだてたる、四方の國國もろともに、
　むつびあふこそ、うれしかりけれ。
とみてこそ、いくさにかちし、國民の、
　ほまれはたかく、あがるとは知れ。
ちり〳〵に、民の心のわかれずば、
　よろづ世までも、國は榮えむ。
りのために誠の道をわすれなば、
　いかでか末の、榮えあるべき。
ぬひはりの、わざおこたらず、いそしまば、
　家内もろとも、のどかなるべし。
るすゐには、家のうちそと、よくきよめ、

で、體を強健に築きあげるか、或は虛弱にしてしまふか、又健全な精神の女となるか、或は放縦な思想のものとなつてしまふかといふことが、多くこの時代に於て決せられるのである。つまり處女時代といふものは最も危險な時代である。謂はゞ、人生の幸と不幸の分岐點はこの時代にかかつてゐるのであるから、然るべき教育をうけて、消極的にはこの危險な時代を無事に通過するやうに努めると共に、積極的には女子としての品格德性を涵養してゆかねばならぬ。この點から見ても、義務教育後更に補習教育をうける必要がある。

三

次に、今日一般の婦人として相當經濟上の智識も持たなくてはならぬ又職業に關する技能をも有せねばならぬ場合が多いのであるが、義務教育に於ては職業教育を施すことになつて居らぬ。

然るに小學校を卒へて更に上の學校に入學せない女の中には、處女時代に於て、又家庭の人となつた後に於ても、或は農業或は商工業などの實業の事に從ふ者が少くないのであるから、これらの人々は職業に關する知識技能ををさめて、職業上の能力を增すことに努めなくてはならぬ。これは一家の經濟上から見て必要なことであるばかりでなく、國家の上から見て極めて肝要のことである。殊に世の中はおひ〳〵世智がらくなつて來て生活がだん〳〵むづかしく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

かたときだにも、あだにすごすな。
たみなとて、つくすまことは、かはらじな、
　うちと外との、わかちあれども。
わが身こそ、よろづの道の、基なれ、
　おのれをおきて、なにをなさまし。
かみ／＼を、いつきまつるも、なにかせん、
　心のまこと、そはずありなば。
よよへても、かはらぬ道は、しきしまの、
　やまとしまねの、道にぞありける。
ただしくば、心の光、一筋に、
　世をも人をも、みなてらすべし。
れいぎこそ、人の交はる、おきてなれ、
　老も若きも、守らざらめや。
そこつなる、ふるまひなせそ、ふるまひは、
　心をうつす、かがみなりけり。
つれの產、あるとしきけば、その人の、
　性のうちぞ、思ひやらるる。
ねぐらより、起きたつ鳥の、聲きけば、
　世のうきことも、忘られにけり。
なつかしき、昔の人の、ふみみれば、
　今ものこれり、尊からずや。
らくれなど、ねがひもさめず、世のために、
　はたらきてこそ、人のかひあれ。
むなしくも、花の色香に、あこがれて、
　短かる世を、すごすうたてさ。

なつて來てゐる今日であるから、男子も女子も協力して收益の增加、經濟の發達を計ねばならぬのである。

　これらの事からしても、女子に職業的知識の必要なことは明瞭であつて、補習教育の必要な所以も亦ここにあるのである。

四

　然るに、現時女子の補習教育は如何なる狀態になつてゐるかといふのに、實業補習學校の數は一萬二千ばかりあるのであるが、その中女子を收容する學校は極めて少數であつて男子四十八萬人に對して女子は約十萬人、毎年の修了者男子は十五萬人女子は三萬人、入學者は男子二十五萬人に對して女子は五萬人である。入學者五萬人といふと相當多いやうに聞えるが、毎年小學校を卒業する女子の中に、進んで上の學校に入學せず、直ちに家庭の仕事につき、又は外に出て職業に從事する人員に比べてみると、著しく少數であつて大正五年度には補習學校入學者五萬人に對して、小學卒業後上の學校にもゆかず、補習學校へもゆかぬ者は三十四萬人にもなるのであるから、補習教育を受くべき者の中、補習教育を實際にうけるものは、僅かに一割二分にしかならぬのである。

　かやうな譯であるから、地方に於ては大いにこの種の學校を設置し、女子の入學を勸誘奬勵すると共に、女子自らも亦進んで補習教育をうけしむるやうつとめなければならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うちまもる、たみなの道は、ひたすらに、
　みくにのためと、心してゆけ。
ゐて食めば、山もつきなんことわりを、
　心にこめて、つれにつとめよ。
のにいでて、畑うつ人も、宮人も、
　つくす心はかはらざりけり。
おのがじし、なりはひかたく、つとめなば、
　大御寳の、名にそひぬべし。
くにのため、つくすまことは、神代より、
　代代ふるごとに、あらはれにけり。
やみをてらす、神の光をたよりにて、
　ひとつ心に、ゆかんとぞおもふ。
まづしくば、いかでさがえん、よろづたみ、
　ちからのかぎり、つとめはげめよ。
けふの日を、ゆめおこたらず、つとめなば、
　やがては國の、光ますらむ。
ふじの根の、たかき心を、いだきつつ、
　ひくきながれに、そふぞうれしき。
こをめづる、親の心根、うつしうゑて、
　ゆくべき道の、しるべとはせむ。
えだ葉のみ、はえてぞみきに、あだなさば、
　のびたたぬまに、かりつくしてむ。
てをともに、とりあひながら、すすまなむ
　まことの道は、正しかれども。
あきらけく、治まる御代に、のりましし、

園藝の話

家庭の園藝は美しくて、あまり面倒でない草花を育てる事が、最も、適當してゐるのであります。次第にその草花を成育する樣子がわかり、造り方も手際よくなりますと、趣味もだん／＼と深くなりますが、私はあなた方が農事のひまひまに、人に手數をかけたり迷惑をかけたりしない位にして、四季たえず、小さなものでも庭や畑の隅に花を見られるやうにと望むのであります。それで、これから、毎號極く簡單な花の植ゑ方や育て方をその時に應じておはなししたいと思ひます。

花菖蒲

秋の彼岸の頃に種をとり、翌春苗床にまきわけ、朝夕水をかけ、丈三寸ばかりにのびると、薄い水肥をやり、梅雨のうちに好みの場所にうつしうゑ、翌春花軸の出る前に肥料を施しますと、種をまいた後二年で花をもちます。肥料は下肥、油粕汁などがよいのです。

月見草

夏の夜に涼しく咲いて、朝になると萎みます。河原や野原に自然に生えたものは皆黄色であります。秋か春の彼岸頃に、苗床に種をまき、發芽したら、眞土（普通の庭や軒下などを堀れば出る土のことです）と砂土とを交ぜた床にうゑます。春蒔きのものは秋、秋蒔のものは來年の初夏に咲きます。繁殖法は取蒔か株分をします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たかき誓を、仰がざらめや。

さむくとも、またあつくとも、人人は、
心のれじめ、ゆめなゆるめそ。

きたへても、君にささぐる、人の身は、
國のさかえの、基なりけり。

ゆめのまも、みことかしこみ、まもらなむ、
たかきいやしき、老も若きも。

めざましき、いさをを世には、たてずとも、
つれのつとめを、ゆめなわすれそ。

みだらなる、ことのはしげく、なりぬれば、
親水もつひに、かれはてぬべし。

しづかにも、治まる御代は、大宮の、
み垣の松に、とりもすくへり。

ゑんりよある、遠つ御祖の、み教は、
てらさぬくまも、あらぬ光ぞ。

ひらけゆく、御代にうまれて、よろづ民、
心ゆたけく、すごすうれしさ。

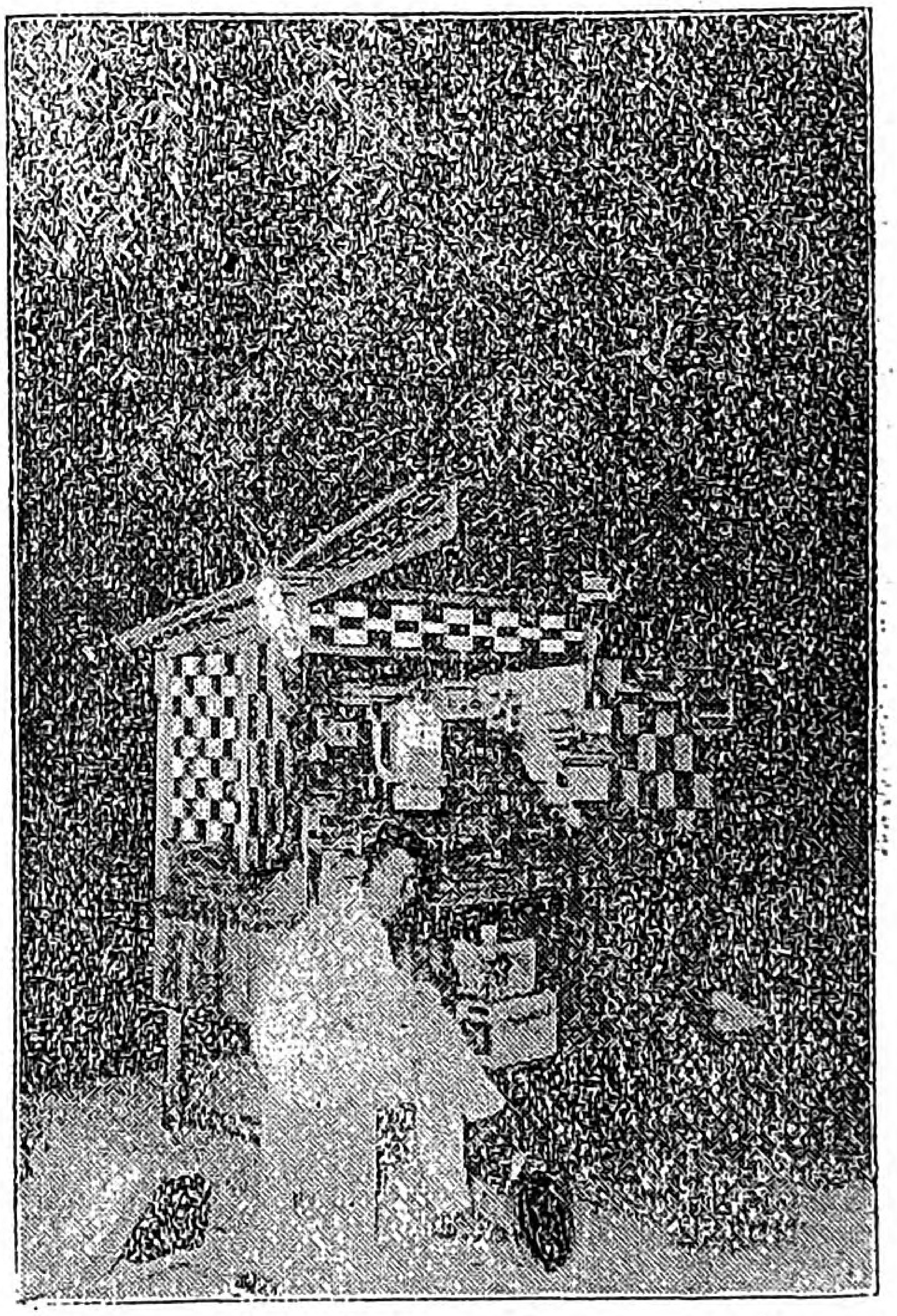
もれいづる、雲間の月の、かげよりも、
みいづの光、さやけかりけり。

せつやくは、身のほど〳〵に、まもれかし、
おごらば家も、國もほろびむ。

すゑながき、道にも進め、よろづ民、
大御心を、仰ぎまつりて。

蟲賣り

——(敬　子)——



何處からか、しのびやかに匍ひ出した薄紫の夕闇が、人足のたえまない大路をすつかり覆ひつくしてしまふと、町並の家々には、赤い、青い灯がまたたきます。

死斯の灯にてらされて、まつ白にみえる柳の並木の下には、蟲賣りが小さな車店を出してゐます。

チロロ、チロロ、と人の心をひくやうな蟲聲がひゞきます。

その後をおつて、白銀の鈴をふるにも似て、リン〳〵と鈴蟲がなきます

「まあ、蟲が出て」と立ち止れば、「これが宮城野の鈴蟲、これが嵯峨の鈴蟲」と、蟲賣の男が、緋房の下つた籠をさす。

又蟲が一しきり、降るやうになかるゝころ、お前たち生ひ出た野邊の露はいかに。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

紙蒲團の話

陸軍主計總監　辻村楠造

紙の布團をお拵へなさいと言つたら、そんなものが出來るかといはれるかもしれない。そんなものが暖かだらうかと問はれるかもしれない。然し確かに出來るのです。そして、本當に暖いのです。紙といふものは、暖いもので、我々の先祖は紙そのまゝのものを保溫用につかつたものです。

紙蒲團の由來

丁度私共が日露戰爭にいつてゐた頃、もう十五六年も前になりますが我軍は滿洲の或山の上に露營をしたことがあります。それは、內地でさへうすら寒い十月の中頃、御存じの樣に寒氣のはげしい滿洲ですから、夜はよほど寒かつたのです。それで、皆は防水劑を施した紙の天幕を下に敷き、その上に寢て、上から外套を着、その上から又天幕をかけてねました。ところが、不思議に體溫はその防水天幕に遮ぎられて外に發散せず、そのために大變暖かでした。試みにその時、天幕の外側に手をやつて見ましたところが、非常に冷たくなつてゐました。

　この經驗を得てから、紙で蒲團をつくつたら暖かで、輕くて、經濟的だと思ひながら、今日まで出來ませんでした。それは、普通の紙ですれば破れやすく、防水劑を施したものは强張つて、ガサ〳〵と音がしますので、面白くありません。何かよい方法がある筈だがと思つてゐます中近頃平井某氏といふ方が、新たに大變によい紙を發明せられました。その紙は、紙でありながら洗濯が出來、揉めば小皺が出來て軟かになりますから、ガサ〳〵といふ音もいくらか減りますので、これこそ蒲團には適當のものだらうと、早速試みて見ま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

したところ、使用すればする程小皺が増して、軟くなり音もしなくなりかるく、暖くて私共のためには、極上の羽蒲團の樣な心持がします。その上、値段は非常に安いのですから至極結構だと思はれます。

紙蒲團の作り方

紙蒲團をこしらへるには、普通の蒲團側を狀袋の底のない樣なものに縫ひ、平井氏の發明せられた紙を水に浸して小皺の出來るまでもみ、しぼつて乾かし、布團側と寸法を同じく糸で縫ひあはせて入れます。入れるのには、この紙を巻いて布團側の中へ入れ、それを擴げて蒲團側に合はし、蒲團側の上下の開いてゐる所を折返してくけ、中央四方を、普通の樣にとぢます。中味の紙が、蒲團側よりも大きい時には、切らずに折返しておきます、すると自然にまはりの方が重くなつて、おちつきがよくなります。

紙蒲團の特長

この紙蒲團は、これまでの蒲團とはちがつて、そのまゝで洗濯が出來ますから、洗濯に手がかゝらず、從つて度々洗ふことが出來ます。そして暖くて輕く、形が小さいから、病人などには大變都合がよく、旅行をするときには持ち運ぶに便利です。そしてこれは、綿の凡そ十二分の一の價しかかかりません。

もし、あなた方が、試めしに作つて見ようとでも思はれますなら、蒲團側は前からあるのをそのまゝで、それにこの紙を入れてごらんなさい。

私は出來るならば、布團側も紙でつくるやうにしたいと思ひますが、平井氏の發明せられた紙では、まだ充分に強くありませんから、やはり布の蒲團側を要します。これを何とか工夫したいものだと思つてゐます。そして出來るならば、價の安い古新聞紙から、この蒲團紙を製造する事が出來たら、一層安くなつて、物價騰貴の此頃は、最も適當のものの一つになるであらうと思つてゐます。因みに平井氏の加工紙といふのは、日本橋區本材木町寺本紙店で賣つてゐます、尚同店には紙蒲團の製品も色々販賣してゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

貧民窟を見るの記

天野藤男

一　まるで死人のやう

土用の蒸しあつい日に、新宿南町の貧民窟をみました。此處は東京でもまだよい方だといひますが、實際をみて、おどろきました。狹い路次の兩側に低い軒の家が歪んだマッチの箱を列べたやうに並んで折から照りつける夏の太陽に、屋根は燒ける、往來は砂埃でムッとする。家の中を覗くと大抵は稼ぎにいつて男は不在のやうですが、かみさんや老人はゐます。洗濯してゐるものもあれば子守をしてゐるものもあります。ゆもじ一つのまつぱだかです。一軒の家では病人があると見え蚊帳を釣つて寢てゐました。ふとみますと、其は六七十になる老人で、瘦せ衰へ、枯枝のやうな手を胸に組み、口を開いて仰向いて寢てゐるところは、まるで死人のやうでした。勿論はだかでした。さぞ暑いだらう、孫子が世話してやるべきだなどゝしみ〴〵思ひました。

二　巡査と間違へられる

往來で兩側がみえる位だから家は廣からう筈がない大抵三疊から四疊半のひと間です。其處へ夫婦に子供が住んでゐるのです。固より食事するところも、寢るところもみんな一所です。疊は敷いてあるところもあれば、茣蓙のところもあります。その茣蓙もボロ〳〵なのが多いのです。大掃除をして疊を裏返すと家が住めなくなるといふのは成程だと感じました。

その中、狹い〳〵、身體がすれ〳〵になるやうな通りに出ました。其が名高い三疊長屋なのでせう。

三疊長屋と申しますれば、三疊敷しかない家の通りで新宿で一ばんひどい所なのです。臺所も流しも殆どないといつて宜しい。庭なんぞある家があらう筈がない。然しさすがに風流心はあります、緣日から買つたらしい百合の鉢を置いてある家もありました。花を好

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

むのは人情です、私が白い服着ていつたものですから「ヤッお廻りさんが來た」といつて近所の子供が五六人かけて來ました。

三　溝の中に盥を浮べて

『あついね、あんたの家はどこだね』

その中の大きい子に聞きますと、默つてゐます。私はその子供に案内をたのみましたら喜んでしてくれました。

『こゝはどこ、何んといふところだね』『三疊長屋』

『家の商買は何んだね』

よくきゝますと、大抵は下駄の齒入れ、洋傘直し、溝さらひ、かみ屑拾ひ、土方、人夫、日傭などで、雨でもふると困るさうです。娘さんは何するときゝますと、專賣局の女工となつて通ふのが多いさうです。

溝の水が煮え返つて、何んとも言へぬ臭みが鼻をつきます。その溝の中へ小さな盥を浮べ、子供が中に入つてあそんでゐました。鮎のピン〱跳ねてゐる田舍の谷川を一目でもよいからみせてやりたいとしみ〲思ひました。

『コラッ馬鹿、畜生奴ッ』

向ふで大騷です。私は珍らしものみたさにいつてみました。

四　髮をふりみだして

其は宿屋のお客同志の喧嘩らしかつた。貧民窟の中にも宿屋があります。一晩十錢位で泊まれます。

『何だ女の奴め、』

と狂ふように一人の老人が奥から女を追ひかけて來ました。女は宿のかみさんらしく、髮をふりみだし、血相かへ、片手に下駄をもつてゐます。聞けば、喧嘩の始る時には女でも下駄を持つてゐるのださうです。其はいざといふ時に、相手をぶつのだと申します。

『交番へいつてくる馬鹿々々しい』

山のような見物をおしわけて宿のかみさんは、はだしで驅け出しました。下駄を振りながら。

五　三疊敷に六人

『喧嘩は時々ありますか』側の老人にきゝますと、

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『珍らしくないだ、溝があるから調子づいて困るだ、暑いから漬かりてい人だから』といひました。いかに暑いとはいへ、溝の中へ漬かりたいとはおどろきました。聞けば毎日二つ三つの喧嘩がないときはないと。なか／＼ひろく、全體がみられなかつたので、私は子供に心ばかりの禮をして、今度は主家さんをたづねいろ／＼中の樣子をたづねました。こゝの主家さんは七棟の長屋をもつてゐるさうで、深切に話してくれました。家賃はまづ一日七錢位、其を毎晩あつめ電燈は五燭を二軒共通位にしてゐる家が多いさうです。『三疊長屋に何人住みますか』『まあ夫婦に子供ですね、私の所は二夫婦は住ませぬことにしてゐます』三疊敷に親子五六人とは何んといふ窮屈なことでせう。是で病氣も少いとは、自然のお助けでせう。

六 お蕎麥て結婚

『娘は專賣局に通ふさうですね』

『えゝ、然し酌婦も多いのですよ、淫賣婦もあります、何しろ風儀もよくないですからね』私は暗い氣持になりました。

『結婚の形式は』『婚禮といつても造作もないですよ、まあお蕎麥でもとつて式をすませるのです。近所の人にはお茶でも御馳走する位が關の山です。見合ひも支度もありません。然し人情は割合にあつく、お葬式の時などには、近所中助け合ひます、お互に一つ長屋に住んでゐれば、いつ自分たちがどうなるかわかりませんからね、遠い親類より近い他人ですもの』

『赤坊は丈夫に育ちますか』

『お醫者も少いので、病氣も多いのですが、濟世會でよくお世話してくれます、ほかの產婆はお金をとりますが、濟世會はたゞで取り上げてくれます。なか／＼深切でムいます。子供はよく生れます、よくしたもので、近所同志で手傳ひ合つてゐます、人情はこうありたいものです。』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

田舍の娘さんへ

救世軍婦人係　伊藤富士雄

田舍の何にも知らない方々は、東京へいつたらさぞよいだらうなどと思はれるのでせうけれど、それは大變な間違ゐです。毎年、この七八月の頃になると、たゞ何の目的もなしに家出して來る少女が澤山ありますが、それらの人はどうなるでせうか。これを聞かれたらあなな方の都會へさへゆけば、幸が得られるといふ考は、すぐに消されてしまふだらうと思ひます。

家出して來るといふからには、あまり小い人はゐません。大抵十六歳位から十八九歳位ですが、家が貧しいとか、繼母にいぢめられるとか幼い時から紡績工場や機械工場へ追ひこまれて、それが苦しくてとび出して來たとかいふのです。それで、出て來ても何をしやうとか、どんな恐しい事になるとか、先のことなどは全く考へないで出て來るのです。

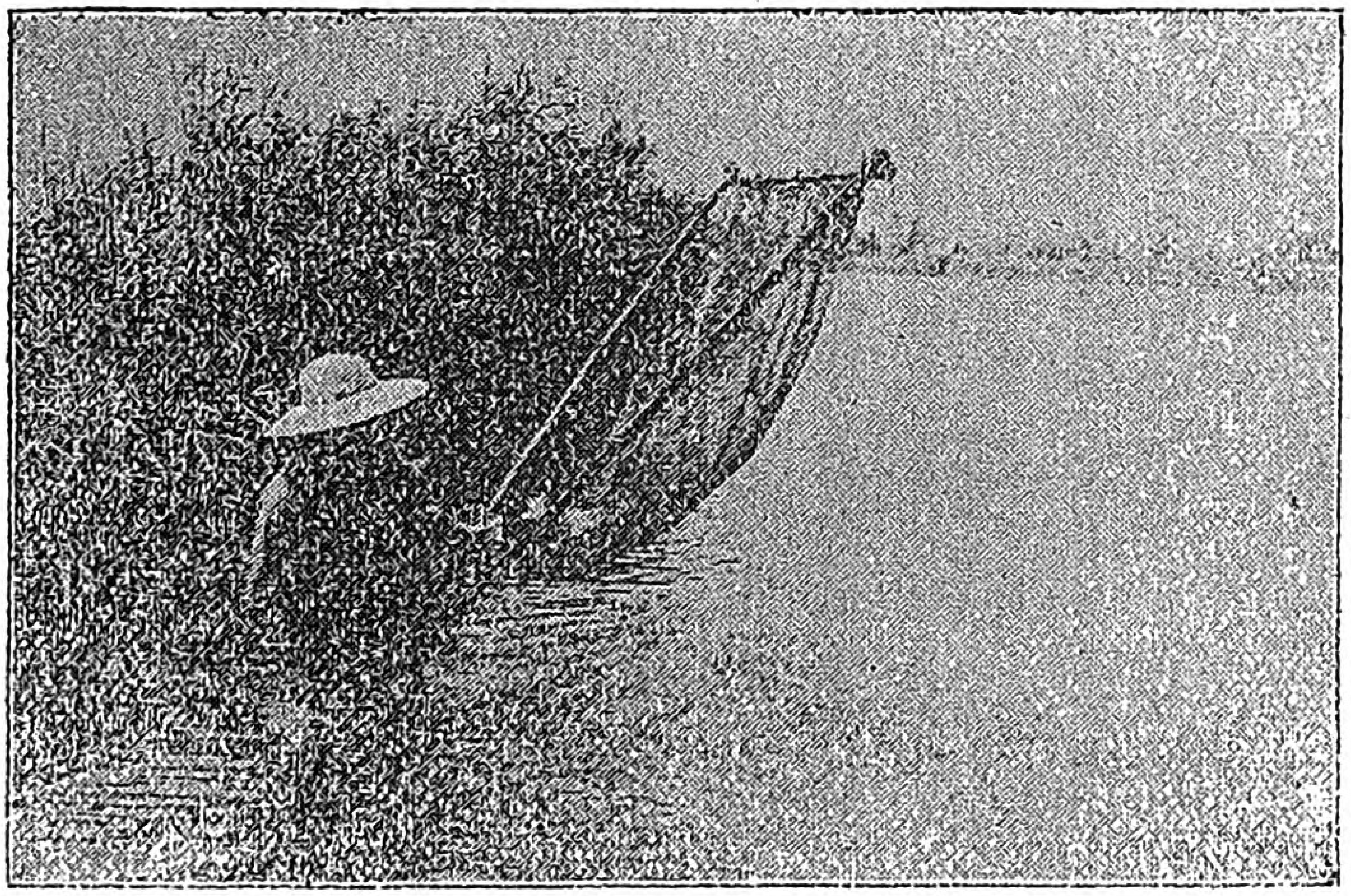
けれど出て來たとて、どうなるでせうか。何となくぼんやりした、不安さうな、大きな荷物を手にさげた田舍者らしい娘が、一人で停車場に降りて、うろ〳〵してゐたら、早速に、恐しい魔の手が、その人たちを誘つてゆきます。大抵は淺草の淺草町とか、本所の松倉町とか、東京の人は名を聞いただけでもおそろしがる、勞働者や不頼漢のごろ〳〵してゐる木賃宿へつれてゆかれて、知らない中に淫賣などに賣られてしまふのです。そして、持つて來た衣類やお金は、三四日の中に、皆なくしてしまひます。

救世軍では、さういふ人たちのために、婦人ホームといふものを立て、毎日女士官が上野の停車場へ出かけて行つて、田舍から家出して來たらしい人を見ると、直にいろ〳〵のことを尋ね、警察に紹介してつれて來ます。そして、それから、三四箇月の間、毎日神樣の話をして聞かせ、裁縫や料理や、これまでいぢめられて苦しめられて、さん〴〵に亂れてゐる心をおちつかせ、洗濯や料理や裁縫などの、女のしなければならぬ仕事をおしへて、もうこれで、外へ出しても大丈夫といふ見込のついた時に、立派な、禮儀正しい家へ女中としてやります。それでも、まだ救世軍の責任は全くなくなつたのではありません。時々、たづねていつて、樣子をみたり、神樣のお話をしたりして、正しい人間になるやうにつとめます。

かういふ風にしますと、初めに私共の言つたり教へたりする事のわからなかつた人々も、だん〴〵と親しくなり、つひには私共を親よりも親しいものと思ひ、奉公先から暮と夏との藪入にはきつと歸つて來ていろ〳〵の話をきかせます。さういふ樣に眞面目になつてくれさへすれば、私共の努力はむくひられた譯なのですが中には、これまで不規律な、だらしのない生活になれてゐるため、婦人ホームでする、眞面目な仕事はどうして出來ないといつて、直にとび出してしまふのもあります。これらは私共には何ともする事が出來ません。

また折を見て、こんなお話を委しくしたいと思ひますが、くれ〴〵も都會は樂しいなどといふ、間違つた考は止めて頂きたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



歐洲戰爭實話

少女の力

内務省囑託　岡田次郎作

（一）

佛蘭西の田舍にアヴルシー村といふ所があります。これは都會をずつと離れた、片田舍の淋しい所ですが、この村へ戰爭にいつて疲れた佛蘭西の兵隊が、休養のために歸つて來るといふで、村の人達は兵隊を慰めるために何日か前から用意をして待つてゐましたが、愈々その日になると、皆は道の兩側に人垣を築いて出迎へてゐました。

その中でも、村長のブークリー老人は、七十あまりの老體をいとはず、孫娘のクロチルドに扶けられて軍隊の到着を待つてゐました。

數百の勇士は、激しい戰爭に疲れ傷つき、衰へて、力なくは見えましたけれど、かうして同胞の親切に歡迎して來れるのを喜び、元氣づきました

兵隊を引きつれて來た中尉は、兵士が三人五人づつ百姓家に分れてゆくのを見て思ひました。もし、獨逸の兵隊が急に攻めて來たりすれば、こんな風にあちこちに散つてゐては直ぐ樣負けてしまふ、これは何とかして一緒に集つてゐなければならないと。それで、村長の老人に向つて、何所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

か、これだけの軍人を一緒にして宿泊せしめるだけの建物はないかと尋ねますと、老人は、「この村の端の野菜畑の中の大きな穀倉がいいでせう。」と教へたので、一同はその中に泊る事にきめて、その方へ案内されてゆきました。

（二）

村長の孫娘のクロチルドは、まだ十六歳にしかなつてゐませんでしたが、非常に悧巧で優しく、そして勇ましく殊に愛國心が深かつたので、祖父さんは澤山の孫達の中でも一番にこの子を愛しました。クロチルドは又、祖父さんによく仕へて兵隊がその村に來てからは、お祖父さんを助けていつも自分の家の畑に出來る果實や野菜などを持つては、二人で兵隊の宿つてゐる所へゆきました。すると祖父さんは、昔若かつた頃、佛蘭西と普魯西との戰爭にめざましく働いた思出話などをして兵隊を慰めたり勵ましたりするのが常でした。若い、血氣な兵隊はその話を聞くと、手を握り齒をくひしめて、今にも敵が來たらといふ樣な氣勢を示しました。

或日も、村長とクロチルドとは、この兵隊の宿つてゐる所へいつて、色々料理などしてゐますと丁度、その時近くの村を見廻つて歸つて來た中尉は、

「もう一刻も猶豫は出來ません、敵の兵隊はすぐ近くの村までおしよせて來ました。」

と、心配さうに言ひました。クロチルドは、これを聞くと、驚いて、眞蒼になりました。村長は又

「憎い敵兵、來るなら來てみろ、年はとつても昔の勇士だ、ただ一打ちに殺してくれる」

と、今にも銃を取つて飛び出しさうにしますのでクロチルドや兵隊達は、

「そんな事をなさいますな、そんな御老體で、亂暴な敵に向ふなんて、實際危險です、それよりは早くお歸りなさい、後は私共が充分打ち止めますから」と慰め諫めて、村長とクロチルドを馬にのせて家に歸らせました。

（三）

村長はそれから二三日たつと、前から持病であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

つたリウマチスが再發して、もう家の外へ一步も出られなくなりました。クロチルドが扶けてくれても、兵舍まで行つて、兵隊と話しをする樂しみは、到底得られません。そして、あの後、敵兵と戰つた樣子なども聞きたいと思つても、何にも聞く事が出來ません。噂によれば、兵隊は明日はこの村を去つて、何處かへ行くといふのです。元氣を恢復して戰場へゆくのか、敗れて都へ歸るのか村長は床の中にゐながら、頻りに氣をもみましたと、クロチルドは、私一人で兵隊の樣子を見て來ませうと言ひました。けれども、何分にもまだ子供の事ではあり、村には敵の兵隊が入り込んでもゐる事ですから、道で出會せば、どんな事をするかもしれないと心配されて、お祖父さんは引き止めましたが、クロチルドは何か決心でもあるのか大丈夫だと言つて出てゆきました。

（四）

クロチルドは、家にはお祖父さん一人を殘して來たのだから、一刻も早く兵舍の樣子を探つて、直に歸りたいと思つて、さつさと道を急ぎましたと、不思議なことに、いつもは澤山人の通る往來に今日は、人つ子一人も通りません、兩側の家は皆窓を閉め、戶を閉めて、ひつそりと鼠の音さへしません。クロチルドはこれを見て、はつとしました。それではもう敵の兵が攻めよせたのか、村の人達はもう皆逃げてしまつたのか、これは大變だと思ひ、何はおいても、お祖父さんの身に何か起つては大變だ、早く引返さうと思つてゐるところへ、後の方で、戞々と馬の音がしますので、振返つて見ると、十五六人の敵兵が、皆馬に乘り槍を左手にかいこみ、右手には短銃を提げて、砂煙を立てながら、此方をさしてかけて來ます。クロチルドは、そつと軒下に入つて、息をひそめてゐました

（五）

敵の騎兵は、軒下に踞つてゐるクロチルドに氣附かずに通り過ぎましたが、最後の四五人はその姿を認めたのでありませう、馬をクロチルドの方へ進ませて、馬から飛び下りて嬢をとりまいてしまひました。そしてその中でも、見るからに恐ろ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

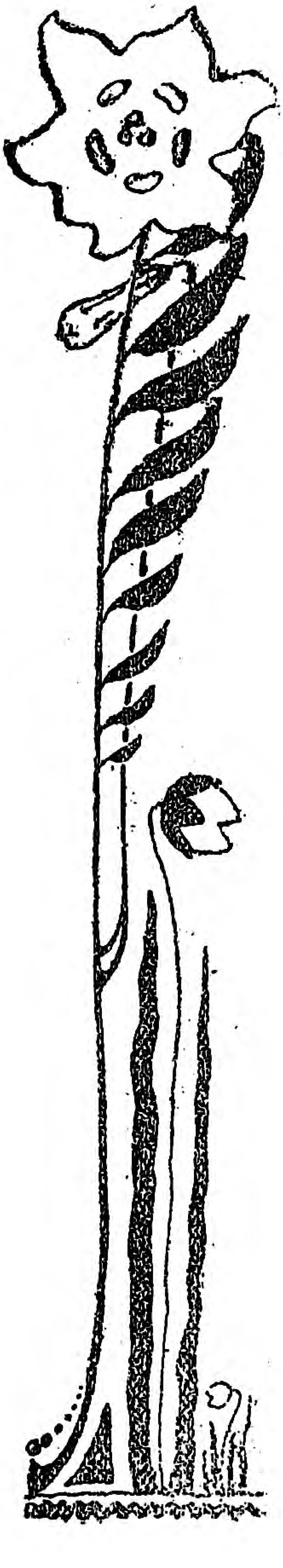
しさうな首領とも思はれる一人が、孃の前につかつかと進み、
「嘘を言つたら生命はないのだぞ」と、嚇しつけておいて、
「この村に佛蘭西兵がかくれてゐるのだらう、さあ、どこにゐるのか、かくさずに敎へろ。」と、どなりつけます。クロチルドは、かねてお祖父さんから敵兵が殘忍な事をして、味方の兵を苦しませた話など聞いてゐましたから、この時こそ敵をとつてやらうと、心の中に決心して、何氣なく笑つて、
「この近くには佛蘭西の兵隊は一人もゐません。御安心なさいませ。」といひました。
それを聞いて、敵の騎兵は安心したのか、又馬に乘つて行き過ぎようとしましたが、その一人が振返つて、
「私共も馬も疲れ切てゐるから、どこか馬を休ませる樣な適當な所はないか。」と聞きました。クロチルドは、こゝだぞと思ひながら、につこり笑つて、
「この村の端に、廣い茂つた森にかこまれた野菜畑があります。馬を休ませるには丁度よいでせう。」と、答へました。
皆樣、この野菜畑といふのを記憶せられますかここには、味方の兵士が、一隊をなして休んでゐるのではありませんか。

（六）

それから後の事は記すまでもなく、諸姉は想像されるでありませう。敵兵は、この僅か十六のまだ肩揚げもとらない樣な少女にまんまとだまされたのでした。何といつても味方は多勢、敵は少數で、見事味方の兵士の勝ちとなりました。やがてクロチルドは戰のあつた跡を見にゆきましたが、敵の兵は或は殺され、或は捕へられてゐました。そして味方の兵は、クロチルドの姿を見ると、口々にその功績をほめました。孃は、
「皆樣が御無事で何よりでした、併し、敵でも、捕へられてしまつて戰の出來なくなつた者は、充分に保護して、ひどく扱はない樣にして下さい。」と、健氣な忠告をして、祖父さんが待つてゐられるからとて、皆に挨拶をして、家に歸りました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

栲幡姫



畠山敬子

栲幡姫、これは人の口にはあまり傳へられてはゐませんけれど、貞潔を以て日本の古代の歴史を飾る女性の一人として、この姫の御名を思ひ浮べます時に、丁度梅の花の香氣に打たれた樣な、氣高い懐しい心持がいたします。

姫は雄略天皇の御女で、またの御名を稚足姫といひます。列代の君の中でも、とりわけ勇武な寛仁な君を御父とせられた姫は、又秀れて美しく氣高く淸らかにゐられました。

その頃は、皇室の御祖の伊勢の大神を齋きまつるを齋宮といひ、いつも皇族の中からかはるがはる何年かの年をきめて未婚の處女をえらんでその任にあてることになつてゐました。この姫も、えらばれてまだお年若い身で、伊勢の國の齋宮として下られました。

丁度この時、大臣といふ樣な役をしてゐた湯人五百木部連といふ人が、或事情から姫をお怨み申し、何がな姫を困らせる折をと思つてゐました。ところが一方に連は、權力の事で自分と對等の位置にあつた、武彥といふ若い男を、非常に惡みました。そして、全く卑しい心から「武彥、姫を犯し奉りて、姫既に姙みたま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

へり」と申したてました。

姫の秀れて美はしく怜しくおはす事を知り、あはよくばその夫にえらばれたいと、思ひ〳〵に願ふ人が多かつたため、そして武彦は、その頃の若人の中にも稀な武々しい男でしたから、この噂は一時にパッとひろがりました。武彦も聞きました。武彦の父も聞きました。父は正直な、善良な心から、もしこれが天皇の御耳に達したならば、武彦は速座に罰せられるにちがひない、自分も亦その父として刑を免れぬところであらう。それよりは自分から武彦を殺してお詫びをした方がい丶と決心して、一日使を武彦の住居に送り、鵜飼に來ないかと誘ひました。武彦も、あらぬ噂、それも自分の生命に關はるやうな恐ろしい噂をたてられてからは、心快々として樂します、狩りにゆくことさへなく、家の奥深く垂れこめてゐましたので、父の誘ひをうれしく思ひ、何の考もなしに鵜飼の一隊に入つて、廬城川にゆきました。多勢の若い人々と一緒になつて騒いでゐると、久し振りに心が輕くなつて、自分のいやな噂の事など皆忘れて、樂しく快く水の中へわけ入りながら魚をとりました。と、その油斷を見極めて、父は腰の刀をぬき武彦を刺して水の中にその屍を葬つて、やがて家に歸り、事の始末をおわびのつもりで天皇に申上げました。

天皇がこの取沙汰をお聞きになるのは、今が始めてでしたので、大變お驚きになり、早速に姫を伊勢路からおよびになり、事の眞僞をおたづねになりました。けれども、姫もこれをお聞きになるのは初めてです。たゞ「存せぬ」といふ外、答へやうもありませんでしたが、それでは天皇もお許しにならず、きびしく糺問されましたが、姫は終りまで「存せぬ」を押し通されました。姫は、父君にまでかく疑はれることを、大變に深く愧ぢ怨まれました。そして私かに決心せらる丶ところがありました。

やがて、夜の更けた頃、姫は御用ひなれのお鏡を懐に入れて、そつと宮をぬけ出られ伊勢の五十鈴川の川上まで辿りつき、人家のない所を見つけ出して、その地に御手慣れの鏡を埋められました。徒歩の御遠出にはなれさせられぬ御身、まして時は夜なり、道しるべする人はなし、漸うにして此處まで落ちのびられた姫

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、思ひの外に疲れを覺えられましたが、やがて氣を取り直し、夜の去らぬ中にと、其處ら芝草の露をはらつて肩にかけられた領布をしき、靜かに座してお懷より紐刀をぬき出し、自ら刄を逆手にとつて、玉の頸を刺して果てられました。身を守れと、母上の給うた守刀は、身を殺す刄となつたことを、姫は悲しまれました。

一方、姫の御姿を見失つた宮中の騷ぎは一通ではありません。天皇は、直に人々を幾組にもわけて遣はされましたが、やがて皆、空しい報告を齎して來ましたその中で一人は、五十鈴川の川上に、長さ四五丈もある、まるで大蛇のやうな虹がかかつてゐるのを見たといふ人がありました。天皇は更にその男に命じて、虹の元をさぐらせられました。と、果して其處からは姫の日頃愛用せられた、美しく研ぎすましたお鏡のまだ曇りもないのが掘り出されました。又少しゆくと、髮一すぢ亂さず、安らかに淸らかに死なれてゐる姫の御屍も見つけました。その生けるやうに美しいお顏をみて、思はず顏をそむけた人もあります、年老いた人は頻りに瞼の淚をぬぐひました。

けれども、天皇はまだ姫をお疑ひになりました。といふのは、武彦の父が、自分の子を殺して自首して出たからには、この噂は必ず本當の事だと思はれたからであります。それで、天皇は人に命じて、姫の腹を割かせて御らんになりますと、腹の中には淸々しい水があり、その中に何か一つ見えたのは、水晶のやうに冷い美しい石でありました。これで天皇は、漸うお疑ははれました。武彦の罪も雪がれました。

武彦の父は、これによつて子の寃を雪ぎましたけれど、さて罪もない自分の子を殺したは實に不覺であつた、その復讐には敵の五百木部連を殺してやるからと、連を殺さうとしましたが、彼は石上神社にかくれて、とう〳〵その復讐をのがれました。

拷幡姫といふお名は、その頃の若い老いた男女の差別なく、あらゆる人の胸にやさしい同情の淚をさそひました。熱烈な戀愛や、勇氣などによつて語りつた、られる婦人の多い古代にあつて、名と操とのために、輝やかしい少女の身を捨てられたこの姫のことを思ふと、一種の有難いとも懷しいともいひえぬ感がいたします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

秋の七草

秋の野に咲きたる花ををよびをり
　かきかぞふれば七草の花

暑いとは言ひながらも、この頃の朝夕の身にしむやうな涼しさ、都大路に立つ並木の葉ずれに、ふと秋らしい音を聞いて、もうその頃かと驚きますけれど、指ををれば次の滿月はお月見、里の野邊にはやさしい七草の咲き亂れてもゐませう。

萩、葛、女郎花、撫子、藤袴、桔梗、薄を秋の七草といふは、誰も知られるでありませう。昔は桔梗のかはりに、朝顔をいれたともいひます。

春の、のどかな、はなやかな時に咲く花は、やはりはなやかな、艶濃いものばかりです。牡丹、さくら、桃、いづれも皆さうです。

けれども、靜かな、淸らかな秋にさく花は、淋しい、つゝましいものばかりです。春の花を都の花といふならば、秋の花は、自然のまゝの野にさいた花です。春の花を、都の乙女といふならば、田舍の、かざり氣のない、つゝましい乙女は秋の花とも言はれませう。

私は秋が好きです。秋の野にみだれてさく、さみしくもやさしい花が好きです。

萩は、白いのもよく、また紅色のもすてがたい。細い葉の、こんもりと密生した間を、まつ白の小さな花が、玉をつらねた樣にならんでゐる上へ、夕べのつゆが水晶の玉のやうに宿つてゐる美しさ、氣高さ、これを袖垣にして流れをあしらつたならば、どんなに床しい人の住居と思はれませう。

夏萩、眞萩、仙臺萩、駒止萩、みそ萩など、名は澤山あります。

駒止萩とは、その咲き亂れたのをみたら、馬がそのまゝ立ち止つてしまつて、動かずに食ふといふのでその名を得たのでありませうか、仙臺萩とは、昔宮城野にすきまもなく生ひしげつてゐたからだといひますが今は丁度武藏野の薄と同じやうに、たゞ名ばかりとな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りました。

秋萩の花咲きにけり高砂の
　をのへのしかはいまやなくらん

撫子はうす桃色の花うつくしく、野邊や河原をかざります。細い莖の上にはあまるやうな、たとへば美しい鄙の乙女のやうな撫子の花、大和撫子、河原撫子などいろ〳〵の名はありますけれど、どれも皆やさしくなつかしいものです。

女郎花の、あの細かな花も、何となくすてがたい心地がします。アメリカでは、あの花を、丁度日本でさくらをめでるやうに、國花としてめでます。

をみなへしうしと見つつに行きすぐる
　をとこ山にしたてりとおもへば。

月の明かな夜の野道の散策、しめやかな風が袂をふけば、薄がサヤ〳〵となる、うなだれてゐた尾花が、人招く樣に、頭をもたげて又ふせる、色もなく香もなく、鳥にも蝶にも忘られてはゐますけれど、秋の野をかざる花では、私は尾花がわけてなつかしい。野を埋めて咲き亂れたのもよく、三四本、床の大花瓶に投げさしたのもよく、或は小川の兩側を、ながれをかくしておひかぶさつてゐるのも、とりどりになつかしいものです。

秋の野の草のたもとか花すゝき
　ほにいでまねく袖と見ゆらん。

その他、藤袴、桔梗、いづれもすてがたく、ひろい葛の葉の、風にひるがへる度に、臙脂色した花のみえるもうれしいものです。

秋の七草は、すべて多年生で、一度植ゑておいたなら、來る年も來る年も花が咲きます。私は、秋くれば一入に七草の咲きそろつた故郷の野を思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

八合目

（富士登山記一節）

白雲生

一

八合目の石室へついたのは晩の五時頃だつた。寒さが犇々と迫つて來て、身體がぞく〳〵と顫へる。

やがて草鞋を解く、足袋を脱ぐ、次で脚袢を外づすと、緊つた肉が急に弛んで、氣持のよいやうな、惡いやうな妙な氣持になる。笠や杖を預けて石室の中に這入る、お粗末な石室で、宛然穴藏のやう疊の代りに茣蓙を敷いてある。振つた部屋だと思ひながら、中に入つてよく見ると、もう片隅に二三人蒲團を冠つて寢てゐる。予等の足音を聞いて一人ピヨッと首を出したが、またすつぽり夜具を冠つて了つた。狹い蒲團から首と兩手兩足をはみ出してゐる所は恰度龜の子のやう。

『君エラかつたねえ』吻つと息をついて友の太田君に話しかけると

『兎に角強行軍だつたからね』

その中『へーい御免』と又一組やつて來た。『今夜は混みそうだな』と番人が囁き合つてゐる。

二

やがて、又一組、又二組後から後から續々とやつて來る。萬綠叢中紅一點、甲斐々々しく裝つた若い娘さんが一人交つてゐた。段々寒くなつて來る。

『君、早く床を取つて置かうよ』

私は太田君を促がして、隅に積んである新らしさうな夜具を二三枚卸した。じめじめと濕つて氣持の惡いこと、加之に砂がざら〳〵とついてゐる。思はず太田君を顧みて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都の先生へ

廣島縣　冲元　艶子

記者先生――私は毎日兄さんの車を押して一里餘り離れた町に一度まゐります、そして毎日毎日私の眼に映じます町の處女のお方の日常と所感をお傳へして先生に讀んで戴つこ思ひます。

記者先生――毎日柔かい肌に浴衣を着てそして金魚等をいじくり乍ら寢そべつて氷よラムネよと好きな物を喰ひ、魚賣りが來れば彼の魚は美味しいの、不味いの、小さいのは好かないなんて、母を困らすお方を見ますが、之が幸福でせうか、眞の快樂でせうか。然し私しは決して幸福の人と羨みもしません。こんな人工的に金錢で幸福を求めるお方が自然の幸福を味はふ事が出來たら、其時彼人達は必ず田舍を憧憬さるゝ事と信じます。自然の幸福とは……峯の小松の影に田の草取を濟まし

『君什うだい』といふと、太田君は、何んとも言はず顔を顰めた。軈てランプがついた。甚い埃と見えてランプの周圍が、錢湯の火のやうにぼんやり曇つてゐる。

まだ飯に間があると聞いたので、太田君と二人枕を列べて寢始めたが、どうしても寢られない。

『君旅便りを書かう』

又起きて、薄暗いランプの許で第二信を書く。

『へーい名物の甘酒で御座い』

番人が節をつけ乍ら呼ぶ。話の種子だからといつて二人して飲む。旨い

軈て片隅で茶碗の音がする。と、番人は皆を起しながら片隅からどん〳〵と蒲團を捲つてゆく、亂暴の起し方だ。中には蒲團剝がれても、ぐう〳〵と大鼾かいてゐる健眠の人もあつた。

三

やがて二十人ばかり車座になつた。肩と肩と擦れ合ふて窮屈で耐らぬ。その中眞黒な茶碗が一つ宛渡る。次で十疋ばかり白魚の煮たのが盛られた小皿が分配される。それから順に飯が盛られる。

『おい早く〳〵』『此方が先だ』

前の晩、誰が食べたものか解らぬ眞黒な箸を取つて、やがて自分等も車

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て晝寢をする時です。輕い浴衣も入りません煽風機も入りません、ラムネもサイダーも入りません。夏の烈日中天に輝く時、一升樽に入れて持つて行つた番茶は甘露の味をして渇を醫するに充分です。生魚の大小も入りません。一年の計を立てゝ浸けた澤庵は、少しの臭味もなく只心地よい樣の香氣を散じて麥飯の味を增し、母が心盡しの味噌汁が魚よりも乾物の煮〆よりも一日の勞を慰する。之以上の物を求むるに及びません。

　記者先生──都人達は魚なりラムネなりを味善く其して面白く喰ふて居られるのでせうが私は決して面白くも味好くもあるまいと信じます。其れで夕陽沒して電燈星の如く輝く時になりますと、面に死人の如く白粉を塗り能く涼を求めて濱邊に行かれるのを見ます。其して夜遲く迄逍遙して其の終りには不眞青年の罠にかゝつて親を欺かれるとのお話を度々聞きます。都の處女は斯うして一生の運命を左右する處女時代をお過しなさるんです。此人達に（墮落せらた時）田舍の處女の神聖

座の一員になつて食ふ。飯が半熟でぶつ／＼とシンがある。けれど、三杯も替へて喫べた。

　その中香の物が渡る。小さな皿に五六切。

『この香々幾人前だね』『へーいどうぞお二人宛に願ひます』『ぢや君、君と僕だぜ』

四

　相變らず圍爐裡の横では、どん／＼と焚火をしてゐる。強力は股火して頻りに酒を飲んでゐる。

『やッこゝだぜ』表でわい／＼聲がする。その中グーギーと入口の重い扉が排いて五六人外から顫へながら這入つて來た。寒い風がビューッと吹き込む。その中莫蓙を取つたら何處かの學生の一隊と知れた。

『やつ飯を食つてゐるね。君僕等にも早く支度して呉れ玉へ、早く……』

『へーい只今』番人が奥で返辭する。飯を畢へた自分は『君、今度はほんとうに寢やうよ』と太田君にいふと『早く休まぬとまだ明日があるからね』自分は太田君と枕を列べて寢つた。自分の所は、石垣の横なので、隙間から寒い富士颪が桶のやうに吹き透す。思はず夜具を冠ると、ムッと埃の臭ひ

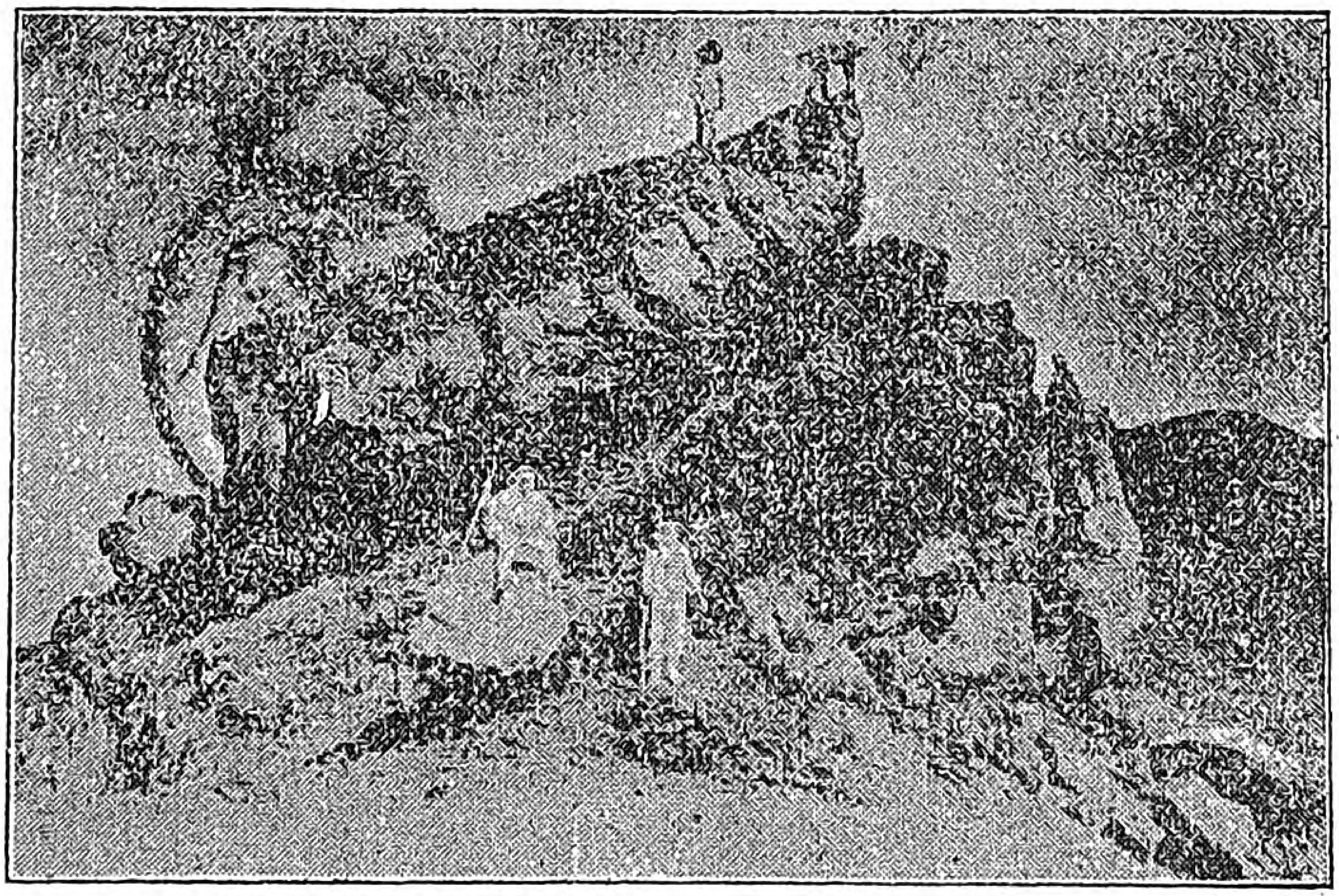
　軈て段々窮屈になつて來た。遠慮のない連中は、後からごし／＼割り込

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

で其して幸福な事をお話した時、必ず都會のお育ちをお悔みなさると思ひます。我々は一日の勞働をして夕顏棚の許に行水を濟まし、其して兄さんのお手拵の涼み臺に登つて宇宙に輝く數千の星に見惚られて、其して明日はくべき草履の一足も作つて家内一同謎々なんか掛けあつて面白く涼み眠くなつた時寢るのですわざ／＼涼を求めて濱邊に行くに及ばず、親達に心配を掛けて不安の夜道を逍遥ふ事もないのです。

記者先生――私しは此處まで書て題の「眼に見えた都會の處女達」を申上げ ろでなく私の農の悅び自然の幸福等私の周圍のみを書きました。最う之でよしませう。ふつつかな文語では御座いますが必ず讀んで下さい。そして田舍の處女、神聖なる勞働に從ふ若い私達を讚美して下さい。(完)

記者曰く、沖元さんのこの御手紙は題を勝手にかへました。非常に嬉しく拜見致しました。



んで來て寢る。頭を擧げると誰かの足に支へる。足を伸ばすと誰かの頭にさわる。大きな寢返りでもしやうものなら隣り近所でウンウンいふ。『君どうだね、寢られるかね』といふと『とても／＼』と太田君は眼を擦りながら答へる。

五

圍爐裡の方では、二番座を食つてゐる。カチャ／＼と茶碗の音がする、寢られぬ。自分はどうしても寢られぬ。少しウト／＼したかと思ふとまた眼が覺める。その中もぞ／＼とあたりが痒い。四國の蚤だか九州の蚤だか知らんが足から腹から背から順に食ひ廻る。痒ゆいと思つても十分に搔くことも出來ない。明日は更に山頂に登らねばならぬ。恁うして寢ずにゐてはと強いて眼を瞑るが、そうすればそうする程眼が冴えて寢られぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新秋の野菜料理

一、燒茄子

なるべく新らしい茄子を洗ひ、よく水氣を切つてそのまゝ火の中に入れて燒きます。柔かになつて皮のこげる位までに燒けた時、水の中にとつて皮をむき、直に水から出して、へたのついたまゝ皿にもつて、わさび又は辛子をそへ醤油をそへて出します。急なお客の時、酒を嗜まるゝ人には大變よろこばれるものです。

二、ずいきとはじき豆の酢の物

ずいきは皮をむいて一寸位に切り、太いところは三つにも四つにも割いて、茹でてあくをさるために水に入れます。はじき豆は莢のまゝ茹でてからはじき出し、豆とずいきとをしぼつて胡麻酢であへます。極手輕な、おいしい酢のものが出來ます。

三、煎馬鈴薯

馬鈴薯の皮をむき、二三分の厚さに切つて、やはらかくなるまで茹でます。よく茹だつたらば火から下して笊にあげ、水氣を切つて擂り鉢に入れ、すりこ木でしづかについてつぶします（この時、味噌をするやうに、すつてはいけません）よくつぶれたら玉子を一個かきまはして、その中に入れ、鹽を少々入れて、又しづかについてつぶし、玉子の一樣にまじつた時、他の鍋を火にかけておき、その中でかきまはしながら煎ります。大變美しくておいしいポテトーが出來ます。

又、玉子のかはりに、鮭のやうな魚肉をバタでいためて細かにしたものを入れて、バタを引いた鍋の中で燒くと、又味のかはつたものになります。

五、蓮の梅合へ

蓮根の皮をはぎ、竪に二つ又は四つに切り、次にうすく輪切りにして、ゆでます。あまり茹ですぎない位に下して、一方に梅干の肉の澤山あるのをえらび、種子をぬき取り肉を擂り鉢の中でよくすり、それに砂糖と極僅かの煮出しを混ぜてゆるめ、その中へ先つきの蓮を入れてあへます。

北野婦人會

（口繪說明）

一、設立　大正五年十二月八日設立爾來繼續

一、組織　北野村尋常卒業者廿五才以下ノ者ヲ會員トス現在會員六十五名准會員二十七名(尋五六)

一、實施方法　講話實習ヲ年數回雜誌回覽ヲ毎月一回ツヽ行フ其事項左ノ如シ

イ、日常作法　ロ、家事經濟　ハ、洗濯手藝

一、經費　會費トシテ會員一名ヨリ年額貳拾錢ヲ徵收ス

一、役員　會長、前川喜左衞門(小學校長)理事、前川ふみい、小林きよ、幹事上田かしく、宮本みゆき、岩井ゆき、伊藤つよ

一、附記　本年六月廿五日ノ總會ニハ本會ノ主催ニテ第五回敬老會ヲ行ヒ當日ノ招待者ハ七十五歳以上二十四名ト幹部員ガ會場小學校玄關ニテ撮影セリ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部協議會

一

處女界中央部に於ては、七月二十九日午後六時より東京停車場前海上ビルデング內中央亭に於て協議會を開き、內務文部農商務當局者を始め教育家實業家其他知名の方を御招待致しました。當日は相憎雨天でしたが、堀內中將閣下を始め、田子內務書記官、下村文部參事官、川西內務事務官、今井井上兩內務省囑託、西田工學博士、渡邊富士紡績押上分場長、宮田修、三輪田元道、岸邊福雄、石田傳吉、大妻こたか女史、中央報德會より上野他七郎氏、靑年團中央部より座間止水氏、新聞社の方など數十名來會せられましたのは、本會の喜びに堪へぬことでございました。

二

當夜は休憩室に地方處女會より寄贈せられた敬老會絞り染講習、作業實習等の寫眞數十枚を陳列する外、(說明を附して)地方處女會員の習字作文、和歌、俳句の類又は地方處女會の手帳、會則、手藝品、處女の作れるいろは歌、其他を展覽に供しました。來賓は熱心に此等の寫眞を見られ、地方處女會の働き振りに氣をとめられたように見受けられました。尙此外廣島縣山縣郡新庄村にありますいつも御紹介します新庄女學校の生徒や先生の田畑の耕作をしてゐる寫眞畫はがきをも陳列致しましたので、新聞社の方も注意してみられたようでありました。

三

午後七時食堂を開き簡單な晩食を差しあげまして、山脇理事が理事を代表し、來賓に御挨拶をなさいました。之に對して三輪田理事令息三輪田元道氏及多年地方を巡回して居られる地方改良家石田傳吉氏の御挨拶がありまして食堂を閉ぢ、別室で懇談協議會を開きました。

堀內中將は處女會の使命の重大なることを說かれ、女學校と處女會との連絡を圖るべきことや、民力涵養と婦人の實力などに就て最も適切な御注意と御奬勵の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お話をして下さいました。

其から田子内務書記官より雜誌の經營其他に就て有益なる御助言があり、次で下村文部參事官は處女會と補習教育について、今井内務省囑託は女子同窓會と處女會に就て、川西内務事務官は郡長して居られた時の地方婦女會の摸樣について、渡邊押上分塲長は工女と處女會について、宮田修氏は處女會の指導と愛情に就て夫々有益にして適切なる御話をして下さいました。理事一同は深く此等の方への御厚情に感謝し、中央部の使命の重大であるといふことの考へを一層深く強く大きくしました。

四

尚諸名士のお話をよく承りたく存じましたが、時間も移りましたので、嘉悦理事が閉會の挨拶に兼ねて「地方婦女子の活動に就て」簡單ながら懇切なるお話をなさいまして、會を閉づることに致しましたが、尚本會に同情のあられる方々はかしこ丶に一團を成して、いろ〳〵と御話しがございました。中央部にかように皆樣の御同情のありますことは、是はつまり地方處女會がまじめで、よい會であるからであります。皆樣は地方に於いて尚一層會の内容を充實しなければなりません。

五

中央部は將來地方婦人問題女工問題等に關する講演會をも開きたいと思つて居ります、尚毎年一回程全國處女會婦人會の寫眞摸範女教員孝子節婦の肖像を首めとし、會員の作文習字其他を陳列して當局者教育家其他の高覽に供したいと考へて居ります。尚其等の中特に珍らしいものは幻燈にこしらへ、都會の女學校の生徒諸孃の參考に供さうと考へて居ります。又地方處女會の際にも映しまして皆樣の御覽に供したいと思ひます。理想も多く計畫も少くありません。皆樣よ今一層の熱心を以て御自分の會の實力を強くかためて下さい。中央部は皆樣が修養し皆樣の會の基礎が確立しさへしますれば自然と十分の働きが出來ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其の二）

はしがき

前々號から百名以上の全國處女會婦人會の一覽表をかかげることに致しました。百名を限ることは意味のないことでありますので、今度は全體の一覽表を掲げます。然し次の各項を御含み置き下さい。

一、大正七年の七八月の郡役所の調査でありますから現在はもつと〳〵ふえて居ます。新たに出來ました地方は至急御知らせ下さい。

二、娘の會や婦女會や同窓會も處女會と見なして加へました。會の名を改めた所も澤山あるやうであります。至急御知らせ下さい。

三、郡役所の回答してくれませぬ地方は殘念ながら載りませぬ。その中再調査を致したく思ひます。

四、表の中會員數や會長など變つた地方では御面倒ながら中央部へお知らせ下さい。

奈良縣

名稱	創立年月	會員數	會長
宇智郡南宇智村處女會	大正六年九月	不明	阪上夏藏
同 野原村婦人會	明治三十年一月	同	福田楢太郎
同 阪合村山陰小學校同窓處女會	不明	同	新保軍平
同大阿太村左名傳處女會	明治卅八年六月	同	花岡大

名稱	創立年月	會員數	會長
同 北智村宇處女會	同	同	奥村熊藏
同 阪合野村大深處女會	大正六年十一月	不明	福塚久内
山邊郡小山戸處女會	大正五年十二月	二四	森下あさゑ
同 豐井校處女一德會	同	五二	京橋彦三郎
同 梅友女子部	大正三年三月	七八	中西音治郎
磯城郡笠間安田婦人會	明治四十四年四月	一七六	山岡喜藏
同 朝倉村母姉會	明治四十一年五月	三〇〇	松本忠五郎
同 吉隱修齊處女會	大正五年四月	二六	藤原丈夫
同 出雲處女會	大正六年二月	二五	中島眞次
同 上ノ鄉處女會	大正六年三月	四五	巽光太郎
同 鷲峰處女會	同	三二	同人
同 萱森處女會	同	一〇	同人
同 吐田婦人會	明治四十五年五月	五〇	新野正雄
同 上但馬處女會	明治四十二年十月	三五	吉川淸正
同 田原本小學校女子同窓會	明治三十四年八月	一〇四三	松井萬藏
同 安信村母姉會	明治四十二年九月	不明	福塚平七
同 櫻井處女會	大正五年十月	四九	梅本庄太郎
同 多武峯處女會	大正六年九月	五七	杉浦茂次
同 倉橋處女會	大正四年二月	七九	岩本正三
同 粟原處女會	大正二年十一月	三二	東野源治郎
吉野郡秋野村婦女會	大正六年四月	二五〇	竹田正太郎
同 鳥住處女會	大正五年十一月	三三	地下テイ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

同	才谷處女會	大正七年二月	一九	德岡シモ
同	丹生處女會	大正六年十二月	二五	玉井綾子
同	長谷處女會	大正五者十一月	二三	保田タケノ
同	白根北婦人會	大正六年二月	五四	天野マス
同	尼ヶ生處女會	大正五年七月	一九	上田ハマエ
同	和田處女會	大正三年十月	三〇	辻岩子
同	中谷處女會	大正六年十二月	二〇	白松利子
同	柞泉婦人會	明治四十二年七月	三五	中上ノブ
同	池津川處女會	大正五年九月	一八	林孝子
同	中津川處女會	大正六年四月	一四	上辻チミス
同	立里處女會	大正六年八月	一〇	龜井光枝
同	川津婦人會	大正五年十月	一五	野崎信行
同	小森婦人會	明治卅九年二月	一九	西田ワサノ
同	折立婦女會	大正六年一月	五〇	松村義隣
同	西中婦人會	大正六年六月	七五	千葉頼一
同	下池原婦人會	大正六年六月	九〇	平井俊三郎
同	河合處女會	大正三年二月	一六	岸田楢造
同	鷲家口處女會	大正六年二月	六〇	池原九一郎
同	鷲家處女會	大正三年九月	四一	福神俵三郎
同	木津處女會	大正六年六月	二四	橋本博太郎
同	平野處女會	明治四十五年三月	五二	古林定二郎
同	大日川處女會	明治四十五年二月	二三	田中眞藏
同	大瀧處女會	明治四十二年三月	三一	中島眞一
同	迫處女會	大正六年四月	一五	清水菊松
同	白屋處女會	大正四年一月	三四	田中基一
同	井光處女會	大正二年七月	六五	福西仙太郎
添上郡	大平尾婦人會	明治四十五年三月	五一	平井信量
同	大柳生村處女會	大正五年十月	一〇二	池尾晴秀
同	狹川村主婦會	大正六年一月	二二九	垣内寛嗣
同	狹川村處女會	同	四六	同人
同	辰市村杏南垣内處女會	大正七年七月	三〇	藤本眞嶺
同	柳生村婦女會	大正六年三月	一一七	上久保瀧三
同	東市村婦人會	大正六年九月	一七六	大門靜子
同	田原村處女會	大正六年二月	一五一	井岡萬一郎
同	田原村母會	大正六年二月	一四六	同人
同	治道村勤勞貯金少女支度會	明治四十五年一月	五〇	石田猪太郎
同	東山村處女會	大正七年九月	九六	大橋鍬松
同	月瀨村婦人會	大正五年十二月	一四九	桝谷條治郎
同	平和村處女會	大正七年二月	六六	何左堅治
同	東山村水友會	大正五年三月	四〇〇	鎌谷普一
生駒郡	西田中婦女會	大正六年十月	五〇〇	東本イソ
同	池ノ内婦人會	大正四年四月	四七	中澤ナチ
同	郡山女子同窓會	明治三十八年一月	二〇〇	井上左太郎
同	北俵村婦女會	大正元年二月	同村全部	杉本久三郎
同	東生駒女子會	大正二年七月	一五〇	森井馨治
同	斑鳩女子校友會	大正二年十月	二四〇	柴崎惟孝

和歌山縣

名稱		創立年日	會員數	會長
海草郡	山口村婦人會	大正四年十二月	一八五	|
同	加太町佛敎婦人會	明治三十一年一月	一三〇	|
同	西脇野村正新婦人會	大正二年四月	一五五	|
同	木本村處女會	大正四年一月	一三	|
同	木本村婦人會	大正四年一月	一四六	|
同	貴志村早苗會	大正四年十一月	一五六	|
同	松江村慈雲婦人會	大正三年九月	三一一	|
同	野崎村總持寺婦人會	大正二年九月	二二六九	|
同	有効村婦人會	大正五年八月	六〇	|
同	眞村婦人會	大正四年八月	一一四	|
同	紀伊村婦人會	大正四年十月	四五	|
同	川永村婦人會	大正四年十一月	五一	|

（以下次號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

吾が彌生會

廣島縣賀茂郡下黑瀨村處好會長　菅原守

本村は呉市を距る二里半の地に有つて、純粹なる農村であります、一體農村に有り勝な事は婦女子は學問よりも、裁縫手藝作法よりも、何よりも働きさへすれば婦人として十分である樣に、父兄も思ひ、當人も斯く感じて居ます。殊に當村は此の思想充溢して、一方より考ふれば最も宜しき事と思ふけれども、是れ丈にては、賢母良妻として、將來國家を擔ふべき國民の母として、不充分であると思つて、明治四十二年八月以來、彌生會を設立して、働く暇を以て之等缺點の補充に勉めた結果、稍見るべき成績を擧げたる事を確信する者であります。

私は、昨年四月より本會の會是として、次の樣ないろは歌をつくり皆に守らせてゐます。

一、智識の修養

イ、新聞雜誌が讀めて家族に話される迄になれ。

ロ、習字作文は夫の留守にても返事の出される位になれ。

ハ、裁縫は日常用ふる家族の衣類の仕立方に通ぜよ。

ニ、割烹は奇異を好むな。朝夕の食膳に上す物の味を上手に付ける事を研究せよ。

ホ、一本の糸も粗末にすな。廢物利用に就きて常に研究せよ。（中略）

二、訓練の修養

ヘ、朝早く起きよ。

ト、掃除は圓き所は圓く、角なる所は角に、箒き拭きせよ。

チ、夜は必ず一人で歩くな、家を出づる時は提灯を用意せよ。

リ、物事は手早くせよ。ぐづ〳〵して暇どる時間があれば手早くして休め。

ヌ、何事も順序を善く考へてせよ。順序惡くすれば時間に損がある許りか、人に笑はれる。

敬老會と處女會

濱名郡中瀨村第三部處女會長中瀨村助役　清水德重

余は地方處女教育の、青年のそれに比し、甚しく遲れたるものの有るを認め、殊に善良なる習俗の兩者の健全なる發達に待つべきを念ひ、大正六年八月三十一日天長の佳節をトして處女會を第三部設置する事となしぬ。會員の修養事項として一日一善を實行條目とし、是れを日記に記載せしめ毎月一回檢閲、時に評語を附し奬勵したるに成績以外に良好なりき、又毎月二回定時會合を開き、小學校教員青年會長等と共に、女子の心得となるべき修身齊家衛生其他時事に關する講話を爲すを常とす、會合は祝祭日等を利用するの外は、多く夜間に於て開催せらるるも、當部は百餘戸の一區域なると、處女教育の亦主婦の覺醒に待つべきもの多きを思ひ、母姉等の同伴を懇請せし結果として、却りて晝間の會合に比し成績佳良なるを認めたり。其の他數種の雜誌（我が家、希望婦人世界）を購讀して廻覽に付し又は適當なる書籍を購入して會員の修養に資しつゝ有り。會の經費は一部會員の負擔によるの外、大部分部落内篤志家の寄附に待てり。

敬老會

大正七年三月廿一日春季皇靈祭の日をトし當部青年會と聯合して初めて敬老會を擧行したり本年四月三日亦前年の例により第二回を擧行す當部内高齢者（七十歳以上）三十名内外にして病褥に有る者の外は盡く出席を得たり。

和歌

◉

赤襷紺の手貫のしつくりと身につく夏の朝の心地よ　廣島　沖元艶子

◉

かさなれる青葉のかげにいさゝかのみ空見いでしかろきよろこび　福井　梨原朝子

◉

しめやかに雨降れりけり峠路を見かへりがちに人は越えけむ　仙臺　紀代子

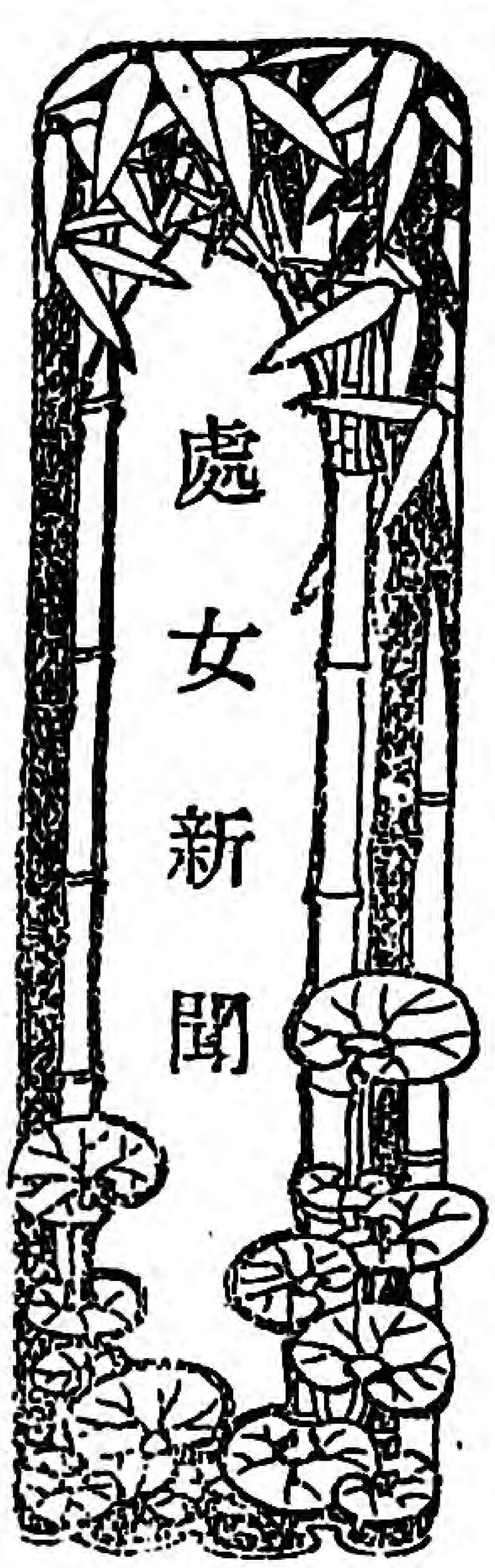
◉

あなうれし夕べのやみに月見草手にうつごとくほん〳〵とさく　長野　瀧澤やよ

◉

さんらんとてる陽の中に立ちならぶ樺の木立よまひる靜けし　奈良　原川靜枝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



第八號

朝香宮御慶事

今上陛下の御妹に渡らせらる朝香宮妃允子内親王殿下には豫て御姙娠中の處去八月二日午前七時五十五分姫宮を御分娩あらせられました。尚八日御命名式を行はせられ湛子(キヨコ)と御命名になりました。

西園寺侯歸朝

我國講和大使として佛國巴里の平和會議に出席せられた西園寺侯はその大任を果し去二十三日熱田丸で神戸着廿四日入京せられました。

ス孃の大西洋横斷飛行

嘗て我國にも來てその妙技を發揮し我國人を驚かした米國女流飛行家スチンソン孃は、今回大西洋横斷飛行を企て、米國から英國まで無着陸で、汽船航路をたどりて飛行する由、婦人で大西洋横斷は最初の試みです。成功したら新しい記錄をつくるでせう。尚スチンソン孃はまだ僅かに二十才を越したばかりの妙齡の處女です。

裁判所の女書記

長崎地方裁判所では今回女子の雇員三名を採用ましたが之等の婦人は在職五年に滿し資格を得た上は書記に任じ、法廷にも列席させるとのことです。

女工の演說

女工でも公衆の前に立つて演說するやうになつたのは時代の勢とはいへ驚くべき進步である。去る七月二十日芝東洋軒で開かれた勞働者の會合の席上、東京モスリン會社女工山内エナ子は女子勞働者を代表して演說をしました。尚此外に三田ゴム會社の佐藤よし、博文館印刷所の小松くに、中央電信局の藤原貞子、富士紡績押上工場の野村ハナ、同藤島とみゑ、同柳原タキ、千住日本硬化會社の大森セン子も皆頭腦明確、辯舌はやかであつて、中にも大森センは未だ十八歳の處女であるけれども辯舌は最も勝れ同盟中より將來を囑望せられてゐるといひます

東京に虎疫

神戸市に在住の草場しめ子といふ婦人は東京本所區の實家に歸省してゐた中去十八日眞性虎疫に罹り十九日死去しました。

此前神田區に一名本所に一名の眞性虎疫患者發生、其他下谷區に疑似性患者一名を發生しましたため東京市民は戰々恟々としてゐます。

白米小賣相場

今年の米作は豐作だから漸次下落してゆくといふ見込の米價は、なかなか下落せず、本日の小賣相場は左の通りです。(一石につき)

等級	生搗白米	精白米
一等	六三、二〇	六一、七〇
二等	六二、〇〇	六〇、五〇
三等	六〇、三〇	五八、八〇

明月をとつてくれろと泣く兒かな
まんまるで鏡の如きお月さま
姫おさまにも見せてやりたい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文藝

□處女會をみるの記(一節)

大分縣高田町　是永秀

日暮れぬ内にと、皆様のやさしき御言葉に、心ならずも、校門を出でぬ、途すがら繰り返さるゝは今日のたのしきまどゐなり。會長樣の厚き御志幹事の君の御世話の行きとゞきたる、さてはなつかしき會員たちのふるまひ、いづれも目出度き人々のまどひの末に連り得たるうれしさは、何にか例へまし。

斯るれんごろなる方々のお力にて、此の會のいや榮え行く事の嬉しさをつゝみあへで、一人ほゝ笑むを、路ゆく人はあやしと見しならむ。

□お盆の夜

群馬縣勢多郡　山口みね

珠なす汗を拭ひながら、取入に田植に務めた體を浄め、祖先を迎へ線香を上げ菓子果物等を供へて、一家樂しむ今日はお盆であります。お盆について思ひ出るのは、僅か一才の幼ない身を以て、あはれ黄泉の客となられた弟であります。數へれば今年十六年、私と共に、時世の變遷など語り合ふ事も出來たであらうと、草葉の客となられた弟を惜しむばかり。あゝ今日はお盆とぞ弟も客にまゐつたでありませう。出來得る限り祖先を祭ると共に、十分に弟の魂を慰めてやりませう。聯想破れて空を眺むれば、はや薄雲の棚引いた空に、月は輝いて居ります。家根又は杉の木などと調和してまことに心地よく、唯ボンヤリして見とれてしまいました。

□蜘蛛の巣

岐阜縣惠那郡坂本村　西尾富士

洗物でもしやうかと襷を掛けながら何氣なく下を見ると緣先の所の蜘蛛の巣が風もないのに大波をよせた様にゆれて居る。

變だなと思つて佇んで見るとなる程、小さな蝶が網にひつかゝつて苦しげにもがいて居る、蜘蛛の大將嬉しさうに隅の方で見物して居る、あのにくらしさ、いつそ蝶を逃してやらうかしらと思つたが蝶を助けたら蝶はどれ丈けよろこぶだらう、それにひきかへ蜘蛛はどれ丈け悲しむだらう。そうだこれは蜘蛛の職業だ、こうしては日日生活して行く生物だ。

今に大風が吹いて來たら、夕立が來たら、この蜘蛛の巣はどうなる事か、命がけで食事をしなければなるぬ境遇を與へられた蜘蛛は不幸な虫だなと思つた。

□上簇の喜び

大分縣西國東郡三浦村　野上俊枝

雨の朝も風の夕も四十日間寸時の暇もなく丹精に丹精をこらした蠶は今日を以つて首尾よく上簇を告げた

寢む間もない忙しさも心の緊張して居た爲か少しも疲勞を感じなかつたがなぜか今宵は急に眠氣を覺えた「今晩こそ早くお寢み」と母様は優しくおつしやつた

私は檢温をして寢まうと思つてそつと蠶室をのぞくと熟蠶は勢よくシヤア〳〵と音立てゝ、營繭を急いで居る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

判じ繪考物答と新題

判じ繪答

(前號四十四頁)

入賞　靜岡縣　市川さい子

厭世自殺をせんとす

(理由)　都會にあこがれて家出をしましたが、思ふようなつとめ口もなくその上墮落したものですから

(評)　奇拔で面白くあります。

埼玉縣　新井みね子

久方ぶりに郷里の農村に歸つて夏の夕暮ほど近い川邊に散歩に行き岸に腰をかけて魚のはれる水面を見てゐるとどこからか歌の聲が聞えますのでふとふりかへつて見ると彼方の畑に清い聲で唱歌を歌ひながら桑を摘でゐる少女がありました歌は靜かな夕暮の空氣を破つて手に取る樣に聞えてきます此時つく〴〵感じました農業の神聖なことをそして自分もこれから農村の處女として十分に活動しようと決心しました。

兵庫　田中みち子

此の人は川の清い流れを見てこんな清い心に成らうと考へて居ることだらうと思ひます。

竹腰よそ枝

この川のそこのそこには若しや心の清い姫君の住み給ふ鮮やかな宮殿でもありはしないかとぢつと川の面を眺めてゐる所なのでせう。

(記者曰く)　尙次の方のはよく出來てゐました。服部あさの子(岐阜縣)內藤いそ子(靜岡縣)藤松さく子(長野縣)山田富江(愛知縣)川元きぬ子(滋賀縣)高松野かん子(埼玉縣)片多芳子(大分縣)

前號考へ答の物

第六號考へものゝ答は左の通りです。路の字の下に鳥の字をつけますと鷺といふ字になりますから正解答は鷺であります。三百五十三名の中左の方々がくぢびきで當りました。

福島縣大沼郡原谷村瀧谷(目黑濤子)△島根縣簸川郡瀧分村(常村サワノ)△千葉縣印旛郡八生村寶田(小川きよ)△廣島縣豐田郡長谷村(西岡カズ)△廣島縣豐田郡長谷村沼田下(神木逸代)△愛知縣知多郡橫須賀町(成瀨脩子)

新考へ物

世界の名高い國の名で、一と二をよみますと子供のたべものゝ名、一と三とは虫の名、一と四とは色の名となります。どこの國ですか(出題者神奈川縣永野いれ子)

〆切　九月十日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

次號豫告

天野理事は八月上旬和歌山三重地方の農村海村並處女會の視察講話に出張せられ下旬歸京の豫定に御座候本月號は旅行記視察記の間に合はざるは頗る遺憾に候へども十月號に於ては左の加き有趣味の記事發表相成申候。本誌獨特天下一品と御信じ下されたく候。

海拔三千尺高野山上の婦人會の大活動
和歌山縣伊都郡の婦人幹部講習實景
三重縣農人農會の大活動
志摩國の澄村處女會の大活動
塔志島(志摩國)處女會員の盆踊りをみるの記
塔志島處女會員と共に鮑を取るの記

殊に天野氏が塔志島に渡り自ら海舟を漕いで處女會員の蜑と共に水泳をなし、鮑を取り夜は浴衣一枚となつて假裝せる處女と相携へて盆踊をなせる光景は特に寫眞に撮影して諸姉にお目にかくべく帝國大學教授覓法學博士も御一所に視察なされし由一大讀物と存じ候、其他お土産頗る多く十月號を御たのしみ被下度豫め御吹聽に及び候。

大正八年八月

處女會中央部

編輯だより

■暑い暑いといつてゐる中に、もう浴衣の袖には爽さをおぼえる頃になりました。かしましい眷も秋もない都の大路にさへ、何となしに、初秋らしい、おちついた心持が味はれます。まして野の秋はさこそと思ひやらます。

■今月は天野理事が和歌山三重の兩縣へ旅行せられたので、その後をうけて私がいたしましたが、不慣のことで、誠にもなくつまらない雜誌をあなた方のお目にかけるやうになつて、大變すまないと存じます。たゞ一生懸命であつたといふ事に免じて頂きたいと思ひます。

■今月から私が少しでも手傳はして頂いたしるしに、從來よりも、もつと實際的な、料理とか裁縫とか洗濯とかいふ樣な記事ものせたいと存じましたが今月は色々の都合でそれが出來ませんでした。來月からは、いろ〳〵のことにつくしたいと存じます。

■東京麹町上六番町七の大妻技藝學校の校長は處女會のために大變同情して下さいまして、地方處女會員が、東京見物のために上京せられた時には、僅かの費用で寄宿舍に泊らして下さることになりました。晝の間見物して夜だけお泊りになるのもよく、或は學校で裁縫や編物や造花やその他色々の技藝をお習ひになるのもよろしうございます。來月號からは、同校長の技藝の話も誌上に掲載いたします。(畠山敬子)

處女の友定價表

毎月一回一日發行

	一部	三ヶ月分	半年分	一年分
定價	拾參錢	參拾九錢	七拾錢	壹圓五拾錢
郵税	壹錢	不要	不要	不要
合計	拾四錢	參拾九錢	七拾錢	壹圓五拾錢

廣告料

	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	/
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正八年八月二十八日印刷納本
大正八年九月一日發行

發行兼印刷人 田所槇猪 東京市本郷元町二丁目六六番地
編輯人 天野藤男 東京市[illegible]町十三番地
印刷所 千代田印刷株式會社

發行所 東京市本郷區元町二ノ六 處女の友發行所 振替東京六一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雜誌店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

斯民

九月號 (第十四編第九號) 價二十錢 一年二圓四十錢

立國の大義……文學博士 井上哲次郎

近代思想の傾向に就て……杉森早大教授

列國近時の經濟事情……津島書記官

社會問題に就て……法學博士 河津暹

流行思想の批判……法學博士 小林丑三郎

郵便貯金と簡易保險……天岡局長

食糧問題解決の根本義……農學博士 稻垣乙丙

一國の元氣は地方に在り……床次内相

麵麭を主食品とせよ……土岐章

馬鈴薯飯と馬鈴薯米……農務局調査

東京府の食糧調節策……早崎技師

優秀なる農事小組合……村田宇一郎

大阪府東成郡馬鈴薯調理法講習會

節米に關する實例

報德千話……井口丑二

臨時國勢調査部副部長の招集……横山雅方

大戰の歸結と日本の地位……長瀨鳳輔

發行所 東京市麴町區永田町一丁目 中央報德會 (振替東京九〇〇七)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保洲四著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目暫中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
＝送料四錢＝

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂
定價拾錢＝送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲＝▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲
定價五錢＝送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢＝送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田稔新著平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢＝送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著青年の娯樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢＝送料六錢

地方青年の敎養

内務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員敎養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究鍵鑰修養、研究、向上娯樂の資料、各團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵税一錢、半年分前金九十錢一ケ年分前金一圓七十錢

東京市麴町區永田町一丁目　帝國青年發行所　振替口座東京一二一六八番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正八年八月二十八日印刷納本

一部定價　金拾參錢

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN